科目名	¥	総合E	日本	語	Ī											
科目名(英)	G	General J	lapar	nese	Ш											
単位数		8単位	立		時間	数		120時間		担当者		河原田・	田中			
実施年度		2020年	度		実施距	持期		前期		担当者実務網	圣験					
対象学科•学年	E	3本語科	(1年	6か.	月)2年											
授業概要	1	言葉の役	割、	健康	管理などE	3常生活	舌と深	くり とり	問題			りできるように 1題点を学習				
授業形式	講	義: ()	演 [:]	習: △	実	習:		実技	支:	※ 主#	≿る方法:○	その他:△			
	言語 情報	知的 運動 技能	態度 意欲	その他		l .				目標	į					
	0				日常身近	に体験	する	出来事や	社会	会的な話題に	ついて、感想	を述べること	ができる。			
学習目標		0			異なる視点	点や考	え方を	を持つ相	手と	も、興味・関心	ンを持って情報	報や意見の交	換ができる。			
(到達目標)			0		より複雑な	文文の村	構造を	を理解し、	適切	刀な接続によ	り、まとまった	内容の文でも	やり取りできる。			
	0	0	0		文章の構	造を理	解し、	、まとまっ	たな	内容の文章	を読み書きで	きる。				
	0	0			発話意図	、場面	などに	こ合わせ	て適	切に表現を使	きい分けること	こができる				
テキスト・教材 参考図書	杜	公田浩志	、亀	田美	保〔著〕『テ	ーマ別	上約	級で学ぶ	日本	語〈三訂版〉	·』研究社KEN	KYUSHA、20	16年			
	回数				授	業項目	•内容	\$				授業外学修	指示			
	1~4	5~8 ついて 調べておくこと(1時間) ************************************														
	5~8	第1誌 しる へ初めての当之 「初を知る」とは、とういうことが。 調べておくこと(1時間) 第2課 いたわる 〈春の一日〉「思いやり」に欠ける現代社会に 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を ついて 数科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を 数科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を														
	第2課 いたわる 〈春の一日〉「思いやり」に欠ける現代社会に 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を 調べておくこと(1時間) 9~12 第3課 ならう 〈そば屋の先生〉 外国語を学ぶ姿勢について 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を 調べておくこと(1時間) 13~ 第4課 トみとる 〈記事の事側〉 現代の報道について 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を 数科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を															
	3~8 ついて 調べておくこと(1時間) 9~12 第3課 ならう <そば屋の先生> 外国語を学ぶ姿勢について 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間) 13~ 第4課 トみとる <記事の事側> 現代の報道について 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を															
		9~12 第3課 ならう くそば屋の先生> 外国語を学ぶ姿勢について 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間) 13~ 第4課 トルトス く記事の事側> 現代の報道について 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を														
	21										調べておくこと(1時間)	り、わからない言葉を			
	25				くガイドさ					17	調べておくこと(1時間)	り、わからない言葉を			
授業計画	26~ 29	第7課	ふせ	ぐ <	<並ぶ文化	2> 安	全な	社会とは	;		調べておくこと(1時間)				
3221721 1-1	30~ 33	第8課	もてフ	なす	<ローソ·	クの島)	> お	らもてなし	とは		調べておくこと(1時間)	ら、わからない言葉を			
	34~ 37	第9課	よび	かけ	る <一茶	の目>	> 無	関心社会	ミにつ	ついて	教科書の該当筆		み、わからない言葉を			
	38~ 41	第10課	えら	ふぶ	<自らの説	選択>	生	きるとは			教科書の該当筆調べておくこと(み、わからない言葉を			
	42~ 45	第11課	いた	ッす	くもったし	ない言	古>	「使い捨	て」時	骨代につい		位囲を事前に読∂	ゝ、わからない言葉を			
	46~	第12課	つた	" "	 <折り鶴>	> 異文	(化を	どう理解	する	か	教科書の該当筆	位囲を事前に読∂	み、わからない言葉を			
	49 50~				ころ くなりれ							6囲を事前に読∂	み、わからない言葉を			
	53 54~								生会 2	が目指すも	調べておくこと(教科書の該当筆	* 1. * .	み、わからない言葉を			
	57 58~	の		- 7	/ 7	> 1.1L ∓-B >		: T= 1 / ±			調べておくこと(教科書の該当筆		み、わからない言葉を			
	60	第15 課	いさ	き る	くひとつの)地球 /	> "	・和とは			調べておくこと(
	以上	上を下記の	の観	点:	削合で評価	iする。				回実施する。 以上)・C(60ょ	点以上)•D(5	9点以下)とす	·る。			
						言語情	報	知的技	能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合			
		定期	試験(筆記	!)	0		0					50%			
評価方法		宿題	[・レフ	ポート		0		0			0		50%			
履修上の注意	括	受業前に	、新品	出語	ー 彙を必ず訓	ー 調べてく	ること	<u></u>								

科目名	ビ	゙゙ジネ	、ス	日:	本語E	3										
科目名(英)	Bu	siness	Japa	anese	э B											
単位数		2単(立		時間	間数		40時間		担当者		河原田	純子			
実施年度		2020年	F度		実施	時期		前期		担当者実務	圣験					
対象学科・学年	日	本語科	(1年	56か	月)2年											
授業概要										本企業で働 決する策に		される習慣 <i>や</i> 〈〈学習する。	マナー、			
授業形式	講義	: '	0	演	習: 4	2 実	習:		実担	支 :	※ 主7	たる方法:〇	その他:△			
	言語 矢情報 打	口的 運動 技能 技能		その他						目標						
	0		0		就職活動	動を成功	させん	るための	基本	的な知識で、	面接時に述	べることがで	きる			
学習目標	(2			日本企業	業で求め	られ	る日本に	関す	る基本的な知	田識を応用す	ることができ	る			
(到達目標)	0				社会人	として身に	こつけ	ナておくべ	き基	本的な知識	や考え方を訪	的することか	ヾできる			
	\vdash		0		即座に征	殳立つビ	ジネ	ス場面で	の日	本語でコミュ	ニケーション	をとることがっ	できる			
	ш															
テキスト・教材 参考図書	長	沼スク	ール	『伸	ばす!京	扰活能力	・ビジ	ジネス日本	語丿	力』国書刊行	· 会 2018年					
	回数	対応的によっては 対応的 対														
	1・2 京	*2 就活能力 自己紹介/自己分析														
	京 . 京	-4 就活能力 面接の受け方														
	社	** 就活能力 面接の受け方 集団面接実施 こと(1時間) 社会文化能力 異文化理/日本の地理 授業終了時に示す課題についてレポートを作成する 社会文化能力 異文化理/日本の地理 レポート作成 こと(1時間) 社会人 其磁力 授業終了時に示す課題についてレポートを作成する とと(1時間)														
	7 0 社	祝活能力 国接の受け方 集団国接美施 こと(1時間) 社会文化能力 異文化理/日本の地理 授業終了時に示す課題についてレポートを作成する 社会文化能力 異文化理/日本の地理 レポート作成 こと(1時間) 社会人基礎力 授業終了時に示す課題についてレポートを作成する														
	<u> 1</u>	10 社会文化能力 異文化理/日本の地理 レポート作成 こと(1時間) 18 社会人基礎力 社会人基礎力 レポート作成 授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること(1時間)														
	10										こと(1時間) 授業終了時に	示す課題につい	てレポートを作成する			
	\vdash										こと(1時間) 授業終了時に	示す課題につい	てレポートを作成する			
授業計画	\vdash	3告•連絡 									こと(1時間)		てレポートを作成する			
	\vdash	プレゼン -									こと(1時間)		てレポートを作成する			
	F I.	事の能									こと(1時間)		てレポートを作成する			
	\vdash	語/挨									こと(1時間)					
	16 仕	上事の能	力電	話多	受ける/か	ける/アホ	ペイント	を取る			こと(1時間)		てレポートを作成する			
	17 仕	上事の能	力電	話多	受ける/か	ける/アホ	ペイント	を取る ペプ	ア発表	ŧ	こと(1時間)		てレポートを作成する			
	18 仕	上事の能	力 討	問							こと(1時間)		てレポートを作成する			
	19 仕	上事の能	力全	議が	ァーススタラ	r̃1(1)(2)					授業終了時に対して (1時間)	示す課題につい	てレポートを作成する			
	20 仕	上事の能	力ピ	゙゙ジネス	スメール						授業終了時に こと(1時間)	示す課題につい	てレポートを作成する			
	以上を	を下記	の観	点:	副合で評	価する		ク時の発 [・] (上)・B(7		以上)•C(60;		9点以下)とす	⁻ る。			
						言語作	青報	知的技	能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合			
		宿題	1・レ7	ポート	`	0		0					50%			
評価方法	グル	レープロ	ワー	ク時の	の発言	0		0			0		50%			
履修上の注意	宿見	題・レオ		を必	ず提出す	ること						1				

		_		r = 1	_I_ 							既儿 Q 表 未 导				
科目名		日 7	本語詞	式퇭	対策B											
科目名(英)	S	Strat	egy for p	oaasi	ng JLPT B											
単位数		2	2単位		時間数		40時間		担当者		河原田	純子				
実施年度		20	20年度		実施時期	Ħ	前期	担	当者実務#	圣験						
対象学科・学年	E	日本	語科(1年	E6か	月)2年											
授業概要	Ē	式験	に出題さ	れる	1に合格する 問題をパター 関する問題に	ンに分り	ナて、その	攻略方	法を学ぶ	>	を目指す。					
授業形式	講	義:	0	演	習: △	実習:		実技:		*	主たる方法:〇	その他:△				
	言語 情報	知的 技能	運動 態度 技能 意欲	その他		ı			目標	Į						
学習目標 (到達目標)	0	0									かけることができ 引することができる					
テキスト・教材 参考図書	佐々	木	二子、松	本紅	子 著『日本』	吾総まと	めN1読解	『アスク	出版、20	10年	チ出版、2015年					
	回数				22214	項目·内					授業外学修					
	1	日本	卜語能力	試験	N1聴解必修	パターン	・ガイダン	ス			雪彙・文法の練習問題					
	2	日本	卜語能力	試験	N1聴解必修	パターン	・模擬問題	頁		N1文字語	語彙・文法の練習問題	をやること(1時間)				
	3	日本	卜語能力	試験	N1聴解必修	パターン	解説 アスティア			N1文字語	雪・文法の練習問題	をやること(1時間)				
	4	日本語能力試験N1聴解必修パターン 解説 N1文字語彙・文法の練習問題をやること(1時間) 日本語能力試験徹底トレーニングN1聴解 N1文字語彙・文法の練習問題をやること(1時間) 聴解 対策編 第1章 課題理解 N1文字語彙・文法の練習問題をやること(1時間)														
	5	4 日本語能力試験徹底トレーニングNI聴解 N1文字語彙・文法の練習問題をやること(1時間) 聴解 対策編 第1章 課題理解 日本語能力試験徹底トレーニングNI聴解 日本語能力試験徹底トレーニングNI聴解 N1文字語彙・文法の練習問題をやること(1時間) 聴解 対策編 第2章 ポイント理解 N1文字語彙・文法の練習問題をやること(1時間)														
	6				: ハ1ント <u>理解</u> :N1聴解必修。	パターン	, 模擬問題	夏		N1文字語	吾彙・文法の練習問題	をやること(1時間)				
	7	日本	卜語能力	試験	N1聴解必修	パターン	解説			N1文字語	· 文法の練習問題	をやること(1時間)				
	8	D 7	大钰松士	レめい		宇カテ	7 h			N1文字語	雪彙・文法の練習問題	をやること(1時間)				
	9				11.					N1文字語	· 全量・文法の練習問題	をやること(1時間)				
極業計画	Ě				N1聴解必修		,模擬問題	頃		N1文字語	· 全 全 全 全 会 ・ 文 法 の 練 習 問題	をやること(1時間)				
授業計画	10				N1聴解必修					N1文字語	· ・文法の練習問題	をやること(1時間)				
	11										・ 文法の練習問題					
	12				N1読解 読解		<u>۸</u> ۲				・文法の練習問題					
	-				N1読解 解説		+井 127 日日 日	IK .			· 東 ス ス の 株 目 向					
	14				N1聴解必修			进								
	15	H 7	下語能力	試験	N1聴解必修	バターン	が解説				吾彙・文法の練習問題					
	16	日本	▶語総ま	とめい	N1読解 読解	実力テ	スト			N1文字語	雪彙・文法の練習問題	をやること(1時間)				
					N1読解 解説					N1文字語	· 文法の練習問題	をやること(1時間)				
	18	絶対	付合格! 命	日本	語能力試験	徹底トレ	ーニング	N1 聴角	解 模擬	N1文字語	雪彙・文法の練習問題	をやること(1時間)				
	19	絶対	合格! 金	日本	語能力試験	徹底トレ	ーニング	N1 聴角	解 模擬	N1文字語	· 文法の練習問題	をやること(1時間)				
	20	絶灵 試願	(百格! (金	日本	語能力試験	徹底トレ	/ ーニング	N1 聴角	解 模擬	N1文字語	雪彙・文法の練習問題	をやること(1時間)				
	(1); 以上	定期 :をT	試験(筆 下記の観	点:	を実施する。(割合で評価す 90点以上)・/	る。				点以上)	・D(59点以下)と	する。				
						語情報	知的技	能	重動技能	態度・		評価割合				
	_	定	三期試験		(5)	0	0			0		50%				
評価方法	_		小テス	\			0			0		50%				
	_											1				
	-															
	\vdash															
		. -								<u> </u>						
関修上の注意	ñ	了題 —	を必ずす	るこ	と。 											

科目名	糸	総合 E	34	話え	Ī											
科目名(英)	Ge	eneral J	lapar	nese	Ш											
単位数		8単位	立		時間数		120時	間	担当者		河原田	純子				
実施年度		2020年	度		実施時期		前期		担当者実務網	圣験						
対象学科・学年	日	本語科	(1年	6か.	 月)2年											
授業概要	日	本語に	よる:	コミュ	識を使って、E ニケーションだ い段階から段	能力。	として対話:	力を身	につける。			ることを学び、				
授業形式	講乳	轰: ()	演	習: △	実習	∄:	実	支:	※ 主 <i>t</i> :	_る方法∶○	その他:△				
		知的 運動 技能	態度意欲	その他					目標	[
		0	0		対話に必要な	- =	ユニケーシ	タン手	段を選ぶこと	こができる						
学習目標		0			段落を構成し	て話	すことがで	きる								
(到達目標)	0	0			日本語能力語	試験№	N2~N1レベ	いの	言語知識を理	₹解し、運用す	ることができ	る				
テキスト・教材 参考図書					本語 初中級 本語 中級 本情											
	回数				授業項	目・	内容				授業外学修	指示				
	13課 親の気持ち・子の気持ち:テレビや街中で気になることを見かけたとき、それについて意見を言ったり、自分の経験を話したりできる。 14課 イベント・行事:周りの日本人に自分の国についてより知ってもらうために、私の文法ノート(13課:p118-124)をやること(1時間)自分の国の行事や習慣について説明することができる。 15課 気になるニュース:気になるニュースや事柄について、自分なりに考えたこねの文法ノート(15課:p136-144)をやること(1時間)															
	1~4 れについて意見を言ったり、自分の経験を話したりできる。 14課 イベント・行事:周りの日本人に自分の国についてより知ってもらうために、 私の文法ノート(14課:p126-134)をやること(1時間) 自分の国の行事や習慣について説明することができる。 15課 気になるニュース:気になるニュースや事柄について、自分なりに考えたことを周りの人に伝えて、やりとりすることができる。 13課~15課のテストをするので復習しておくこと															
	れについて意見を言ったり、自分の経験を話したりできる。 14課 イベント・行事:周りの日本人に自分の国についてより知ってもらうために、自分の国の行事や習慣について説明することができる。 15課 気になるニュース・気になるニュースや事柄について、自分なりに考えたことを周りの人に伝えて、やりとりすることができる。 13課 し1 新たな出会い:新しい環境に自分から挑戦して、その環境で印象的に自己紹にと述る表現ワークブック1課をやること(1時間)															
		5~8 自分の国の行事や習慣について説明することができる。 9~12 15課 気になるニュース: 気になるニュースや事柄について、自分なりに考えたことを周りの人に伝えて、やりとりすることができる。 13課 ~15課のテストをするので復習しておくこと 13~ L1 新たな出会い: 新しい環境に自分から挑戦して、その環境で印象的に自己紹介することができる。														
	16	5~8 自分の国の行事や習慣について説明することができる。 15課 気になるニュース: 気になるニュースや事柄について、自分なりに考えたこ 私の文法ノート(15課:p136-144)をやること(1時間) 18~12 とを周りの人に伝えて、やりとりすることができる。 13課 ~15課のテストをするので復習しておくこと 13														
	20 (9~12 15課 気になるニュース: 気になるニュースや事柄について、自分なりに考えたことを問りの人に伝えて、やりとりすることができる。 132~15課のテストをするので復習しておくこと 132~15課のテストをするので復習しておくこと 132~15 新たな出会い: 新しい環境に自分から挑戦して、その環境で印象的に自己紹介することができる。 17~ L2 買い物: 周りからいろいろな情報を得たり、自分の希望を伝えたりして、満足 ことば・表現ワークブック2課をやること(1時間)														
	24	夫や時間	の使い	ハ方な	どの情報をやりと	りする	ることができる	0		ことば・表現ワー 	-クブック3課をや	やること(1時間)				
1 with 2 1		L4 地域を ることがで			舌する:地域の暮ら	بدالاذ	必要な情報を	得て、忖	や適な生活を送	ことば・表現ワー	-クブック4課をや	やること(1時間)				
授業計画	29~ I	L5 緊急	事態!	: 予其	用しないことが起き 食したことについて				ことができる。	ことば・表現ワー	-クブック5課をや	やること(1時間)				
	33~ I	L6 地図を	を広げ	る:ふ	るさとや住んだこ	とがま	る場所の地理		実に合わせた生	ことば・表現ワー	-クブック6課をや	やること(1時間)				
					への理解を深める。 た:異なる背景を持			通して目	自分の視野を広	ことば・表現ワー	-クブック7課をや	やること(1時間)				
		げることが L8 気持ち			異なる背景を持つ	人々	との交流を通	して白ゲ	かの視野を広げ	ことば・表現ワー	-クブック8課をも	らること(1時間)				
	44	ることがで	きる。		面に応じて自分の					ことば・表現ワー						
	48	受け止め	たりし	て、コ	ミュニケーションを	取る	ことができる。									
	52	比べたり、	紹介	したり	:日本の豊かな表 しながら、周りのノ	人と楽	しくコミュニケ	ーション	を取れる。			そやること(1時間)				
		L11 ライフ 経験と比輔			まざまな人のライ と言う	ンス タ	タイルを知って	、自分日	自身の考えや	ことば・表現ワー	-クブック11課を	やること(1時間)				
					異なる環境におい することができる。		分の目標を達	成するた	こめに、心と体	ことば・表現ワー	-クブック12課を	やること(1時間)				
	(1)定 以上	三期試験 を下記((筆の観	記)を 点・害	・実施する。(2) 引合で評価する	ーー) 宿題 る。					\ I I					
	戍禎	計価基	华は	., 5(90点以上)·A	(80¥	_ス 以工)•B((小() 点)	火工/*じ(60 月	ポタモ)・D(59	ルスト)とす	ବ				
					言	吾情	報 知的	技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合				
		定	期記	は験		0	С)				50%				
評価方法		宿題	[·リァ	ポート	•	0	0)		0		50%				
履修上の注意	授	業前に	、新	出語	彙を必ず調べ	てくる	ること									

科目名	1	会話	īШ													
科目名(英)	J	apane	se Cor	ivers	ation III											
単位数		2直	単位		時間数		30時間	担当者		河原田	純子					
実施年度		2020	0年度		実施時期	月	前期	担当者実務	経験							
対象学科・学年	E	3本語	科(1年	6か.	月)2年				1							
授業概要	4	ト語に	よるコミ	ミュニ	識を使って、 ケーション能 を目標とする	カとして	とを伝え、価対話力を身に	値観や立場 <i>0</i> こつける。また)違う相手のこ 、できるだけり	とを理解す	ることを学び、日 6段落を構成して					
授業形式	講	義:	Δ	演	習: 0	実習:	実	技:	※ 主た	る方法:〇	その他:△					
	言語 情報		運動 態度 意欲	その他		l	<u>"</u>	目標	<u> </u>							
	0	0	0		学校∙職場∙地	域などの	生活場面にお	いて、日本語で	での自然な会話	ができる						
学習目標	0				対人関係や物	事の処理	≣をスムーズに	運ぶために役	立つ日本事情を	理解すること	ができる					
(到達目標)	0		0		面接試験やビ	ジネスに	対応できる敬詞	唇を正しく使うこ	とができる							
テキスト・教材 参考図書	ħ	□藤早	苗(監(修)、	秋山信子・坂	本舞(著	WEEKLY J	:日本語で話	す6週間』凡人	、社、2012年						
	回数				授業	項目•内:	容			授業外学修	指示					
	1	Unit 1	2 意見	を言う					授業終了時に示 ること(2時間)	す課題につい	て、レポートを作成す					
	2	2 Unit 13 国のルールやよくないと言われていることについて話す														
	3	2 Unit 13 国のルールやよくないと言われていることについて語す ること(2時間) 3 Unit 14 失敗談を話す 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間) 4 Unit 15 関いた話をもとに 人に伝える 授業終了時に示す課題について、レポートを作成する。														
		3 Unit 14 失敗談を話す 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間) 4 Unit 15 聞いた話をもとに人に伝える 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)														
		3 Unit 14 失敗談を話9 ること(2時間) 4 Unit 15 聞いた話をもとに人に伝える 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間) 5 Unit 16 うわしかった思い出を話す 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)														
	<u> </u>	4 Unit 15 聞いた話をもとに人に伝える 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間) 5 Unit 16 うれしかった思い出を話す 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間) 5 世典教者を持たこれでは、ロボートを作成すること(2時間)														
	6	Unit 1	7 赤い	セーク	マーを看ている	人は誰で	ずか 		ること(2時間)		て、レポートを作成す					
授業計画	7	Unit 1	8 謝る						ること(2時間)							
2217411	8	Unit 1	9 相手	に忠	告する				ること(2時間)		て、レポートを作成す					
	9	Unit 2	0 電話	をする	3				ること(2時間)		て、レポートを作成す					
	10	Unit 2	1 状況	を聞く	(•答える				授業終了時に示 ること(2時間)	す課題につい	て、レポートを作成す					
	11	Unit 2	2 日本	を来	 てから変わった	ことについ	ハて話す			す課題につい	て、レポートを作成す					
	12	Unit 2	3 好き	な場所						:す課題につい	て、レポートを作成す					
	13	Unit 2	4 経験	に基	 づいてアドバイ	 スする			授業終了時に示	す課題につい	て、レポートを作成す					
	14	Unit 2	5 相手	に苦	情・文句を言う					:す課題につい	て、レポートを作成す					
			10 問いた							:す課題につい	て、レポートを作成す					
) (2) 5	■ 関試験(口頭	夏)	ること(2時間)							
	以上	を下	記の観	点:	副合で評価す	る			点以上)•D(59	点以下)とす	ける。					
					言	語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合					
		会	話作成	•発	長	0	0		0		50%					
評価方法		定其	リテスト	(DB	頁)	0	0		0		50%					
履修上の注意	抖	受業終	了後に	、次	のUnitの課題	夏を配布	するので、課題	摂をしっかり気	記成し、積極的	に発話して	ください。					

	_															
科目名	ļ	徳解I	П													
科目名(英)	J	apanese	List	enin	g III											
単位数		2単位	立		時間数		30時間		担当者		河原田	純子				
実施年度		2020年	度		実施時期	1	前期		担当者実務網	圣験						
対象学科•学年	E	本語科	(1年	6か.	 月)2年	'		'								
授業概要	7 ਰ	できる。 きた、日常	常的机	な場合	面に加えて幅	広い	場面で、自然	に近	iいスピードの		ある会話やニ	度理解することが ニュースを聞いて、				
授業形式	講	義: ()	演	習: △	実習	일 :	実	技:	※ 主た	-る方法∶○	その他:△				
	言語 情報	知的 運動 技能 技能	態度 意欲	その他					目標							
	0	0	0		キーワードを聞	いて、	内容を推測でき	る								
学習目標	0	0	0						取ることができる							
(到達目標)	0	0	0	-					頭・文章で表現で	ごきる						
	0	0	0		複数の情報を比	≾較•紛	合しながら、内	容がう	予測できる 							
ニナフレギサ	_	9 冊7 末 フ	, ,1	. In -	Z (P 1 × 1 1 1 1 1 0 1 × 1	Lu	口士哥松士	= - ⊁ F-◇	NO TEAT	=± A2	7 0010Æ					
テキスト・教材 参考図書					F』トリル&ト 「編著者『聴					読解』ユニコム 、社、2016年	么、2010年					
	回数				授業	頁目•	内容				授業外学修	指示				
	1	授業概要説明 ドリル&ドリル 課題理解 第1回 ・ 即時応答 第1回 聞き取れなかった語彙・表現の復習 ドリル&ドリル ポイント理解 第1回 概要理解 第1回 ①② 聴解が弱いあなたへ 1お祝い 聞き取れなかった語彙・表現の復習														
	2	ドリル&ドリル ポイント理解 第1回 概要理解 第1回 ①② 聴解が弱いあなたへ 1お祝い 聞き取れなかった語彙・表現の復習														
	3	ドリル&ドリル 課題理解 第2回 即時応答 第2回 聴解が弱いあなたへ 2ゴミ出し 聞き取れなかった語彙・表現の復習														
	4	ドリル&ドリル 課題理解 第2回 即時応答 第2回 聴解が弱いあなたへ 2ゴミ出し 聞き取れなかった語彙・表現の復習 ドリル&ドリル ポイント理解 第2回 概要理解 第1回 ③④ 聴解が弱いあなたへ ③忘れ物を探す 聞き取れなかった語彙・表現の復習														
	5	ドリル&ドリ.	ル課	題理解	第3回 即時応答	第3回	聴解が弱いあなた	へ 5初]めての一人暮らし	聞き取れなかっ	た語彙・表現の	復習				
	6	ドリル&ト	ジリル	ポイ	ント理解 第3回	回 統1	合理解 第1回	即時	時応答 第4回	聞き取れなかっ	た語彙・表現の	復習				
1-4-416 = 1	7	ドリル&ド	ジリル	課題		既要理	解 第2回①2	即即	時応答 第5回	聞き取れなかっ	た語彙・表現の	復習				
授業計画	8	ドリル&ト	ドリル	・ポイ	(ント理解 第4	回 紡	合理解 第2[回 即]時応答 復習	聞き取れなかっ	た語彙・表現の					
	9	N2問題漢	官習													
	10	N2問題演	智													
	11	N2弱点补	甫強													
	12	聴解が弱	いあ	なた	へ 13 体のキ	犬態										
	13	聴解が弱	いあ	なた	 へ 14 薬											
	14	聴解が弱	いあ	らなた	へ 23 ヘア-	-スタ-	 イル									
	15	前期のま	とめ	期ヲ	 F試験対策」											
	以上	-を下記(の観	点:		る。				」 点以上)・D(59	点以下)とす	ā.				
					言	語情	報 知的技	能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合				
		定	期詞	t 験		0	0					50%				
評価方法		/]	\テ <i>ブ</i>	۲ ト		0	0			0		50%				
履修上の注意	酉	で布された	たプリ	リント	は必ず復習す	するこ	٤		ı	ı		ı				

科目名	1	作文														
科目名(英)	J	apanes	e Wri	ting												
単位数		2単	位		時間]数		30時間		担当者		河原田	純子			
実施年度		2020:	年度		実施	時期		前期		担当者実務網	圣験					
対象学科・学年	E	1本語和	斗(1年	E6か.	月)2年											
授業概要											いたことをロ! につけ、書くこ		すく紹介できる。			
授業形式	講	義:	Δ	演	習: C)	習:		実打	 支:	※ 主た	-る方法:○	その他:△			
	言語 情報	知的 運動技能 技能		その他		I		<u> </u>		目標	i					
	0	0	0		必要な語	彙や表	現を	正しく使用	する	らことができる	5					
学習目標	0	0	0		自分の意	見を分	かり	やすく書く	رعت	ができる						
(到達目標)	_															
 テキスト・教材																
参考図書	(C&P日	本語教	敎育•	教材研究	会(著)	『日2	本語作文I	-身	近なトピックロ	こよる表現練	習』専門教育	出版、2001年			
	回数				授	業項目	•内容	 容				授業外学修	 指示			
	1	授業概要説明 日本語を学ぶ理由① テーマの作文を作成する(1時間) 日本語を学ぶ理由② 作文の完成 発表の練習(1時間)														
	2	技業概要説明 日本語を字ふ理田①														
	3	日本語を字が理由② デーマの作文を作成する(1時間) ポカルたい有名人① ポカルたい有名人① ポカルカル かっこば みきょの は別(1時間)														
	4	= = = 0														
	5	桁がしにい有名人(!) 佐立の京武 発表の体型(1時間)														
	6	国との	比較	学校	· 教育②)					作文の完成 発	表の練習(1時間	月)			
	7	国との	比較	家族	失∙結婚観	.1					テーマの作文を	作成する(1時間])			
授業計画	8	国との	比較	家族	失∙結婚観	.2					作文の完成 発	表の練習(1時間	引)			
	9	暮らし	方∙生	き方	テーマ選	選択①					テーマの作文を	作成する(1時間])			
	10	暮らし	方・生	き方	テーマ選	選択②					作文の完成 発	表の練習(1時間	引)			
	11	将来の	計画	<u>(1)</u>							テーマの作文を	作成する(1時間])			
	12	将来の	計画	(2)							作文の完成 発	表の練習(1時間	1)			
	13	留学生	活で	学ん	だこと①						テーマの作文を	作成する(1時間])			
	14	留学生	活で	学ん	たこと②						作文の完成 発	表の練習(1時間	1)			
	-				だこと③						作文の完成 発	表の練習(1時間	1)			
	以上	-を下記	己の観	点:	割合で評価	西する。		プワークF (上)・B(70			「 点以上)・D(59	9点以下)とす	- ₋ 3			
						言語情		知的技能	能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
57 / T + >+	<u> </u>		試験			0		0			0		50%			
評価方法	L 2	ブループ	.,,	ソ時(の発言			0			0		50%			
履修上の注意	L	ノポート	や宿息	題は、	必ず期限	艮内に提	と 出し	て下さい。								

科目名	Ī	売角	屛Ⅱ	I												
科目名(英)	J	apan	ese	Rea	ding	Ш										
単位数		2	単位	ኒ		時間数	τ		30時間		担当者		;	可原田	純子	
実施年度		20	20年	度		実施時	期		前期		担当者実務網	圣験				
対象学科・学年	E	本語	吾科	(1年	6か	月)2年						·				
授業概要	オ プ の	kめら 文章 D試馬	かれる 構造 後と同	る。こ を理 司様	この請 解し の形	義では文章 内容把握が	理解できる 多く記	の基づように	礎となる こしてい・	接続 く。又	かれた又早 表現、指示記 、日本語能 「の内容予測	吾、機能語 ⁷ 力試験では	ょどの† 様々な	ペイントで 文章が	とおさえなれ 出題される	がら、 。実際
授業形式	講)		習: △		習:		実担	支:	※ ∄	たる方	法:〇	その他:	Δ
	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度意欲	その他						目標					
	0					本文中の語	彙•ā	表現か	「説明で	きる						
学習目標	0	0				本文の概要	を理	解し、	筆者の	主張	を読み取るこ	とができる				
(到達目標)	0	0				本文中から	必要	な情幸	最を素早	く探し	ン出すことが.	できる				
テキスト・教材 参考図書	占	【野)	恵子	·、辻	: 和于	~『ドリル&ト	・リル	日本	語能力	試験	N2 聴解・	読解』ユニ	コム、20)10年		
	回数					授業	項目	•内容	ř				授業	外学修	指示	
	1	内容	7理角	裈(短	豆文)	① 短文1番	~5₹	番				教科書の該	当範囲を	事前に読ん	んでおくこと(1時間)
	2	内容理解(中文)① 短文1番~3番 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(1時間)														
	3	内容理解(中文)① 短文1番~3番 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(1時間) 授業内容に係る確認テストを実施するので、														
		授業由衆に反る強烈テフト大字拡けるので														
	<u> </u>	確認小テスト 授業内容に係る確認テストを実施するので、 復習しておくこと(1時間)														
						③ 短文7番		奎				教科書の該	当範囲を	事前に読ん	んでおくこと(1時間)
授業計画	7	統合	理角	羅①	統領	合理解1番~	·2番					教科書の該				1時間)
	8	統合	理角	彈②	統領	合理解3番~	·4番					授業内容に位 復習しておく			施するので、	
	9	統合	理角	彈②	統領	う理解3番~	4番					教科書の該	当範囲を	事前に読ん	んでおくこと(1時間)
	10	主張	理 角	翼①	主引	長理解1番~	·2番					教科書の該	当範囲を	事前に読ん	んでおくこと(1時間)
	11	確認	小う	テスト	,							授業内容に信 復習しておく	–		施するので、	
	12	主張	理 角	翼3	主引	長理解5番~	6番					教科書の該	当範囲を	事前に読ん	んでおくこと(1時間)
	13	情報	凝検 索	転①	情報	₩検索1番~	·4番					教科書の該	当範囲を	事前に読ん	んでおくこと(1時間)
	14	期末	ミ試馬	食 言	式験筆	范囲確認・復	習プ	リント				教科書の該	当範囲を	事前に読ん	んでおくこと(1時間)
	15	期末	三試馬)	を認っ	テスト						授業内容に係 復習しておく			施するので、	
	以上	<u>-</u> を下	記(の観	点:害	引合で評価す	ける。				数回実施す。 以上)・C(60g	<u></u> る。			⁻ る。	
						Ī	語情	報	知的技	能	運動技能	態度•意德	次 そ	の他	評価語	割合
			定	期討	験		0		0						50	%
評価方法		7	官題	• /]\-	テスト	`	0		0			0			50	%
履修上の注意	舌	辛書を	を使れ	わな	いで	、内容を推測	此な	がらざ	と章が読	み進	められるよう	にしましょ	5.			

科目名	-	文字詞	吾彙	⊉ II												
科目名(英)	J	apanese	cha	racte	ers and vocabu	ılary 🎞										
単位数		4単位	立		時間数		60時間	担当者		河原田	純子					
実施年度		2020年	度		実施時期		前期	担当者実務	経験							
対象学科・学年	E	3本語科	(1年	6か.	月)2年			•								
授業概要	/ _c		文や	語句]を効率よく覚						その言葉だけで 役立つ語彙を身					
授業形式	講	義: (0	演	習: △	実習:	ᢖ		※ 主 <i>t</i> :	-る方法:O	その他:△					
	言語 情報	知的 運動 技能 技能	態度意欲	その他				目標	<u> </u>							
	0	0			前後の文脈が	いら空所	に入る語を	選ぶことができ	きる							
学習目標	0	0			出題された語	と意味に	的に近い語る	選ぶことがて	きる							
(到達目標)	0	0			複数の文の中	から語	が正しく使れ	つれている文を	選ぶことがで	きる						
	0	0			接頭辞や接属	経辞など	を入れ、派生	生語や複合語 [。]	を作ることがて	きる						
テキスト・教材 参考図書					栖 里美(著),					(著), 本田 は	かり(著)					
	回数				授業項	目・内				授業外学修	指示					
	1.2	は調べておくこと(1時間) 2章 生活 1·2·3課 数科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語 は調べておくこと(1時間)														
	3.4	は調べておくこと(「時间) 数科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語 は調べておくこと(1時間) 数科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語 数科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語														
		は調べておくこと(1時間) **														
		6 3章 趣味・娯楽 / 4章 旅行 1・2課 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) 8 5章 教育と仕事 1・2課 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等な利書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等ない。														
	7•8	6 3早 趣味・娱来 / 4早 m1 1・2味 は調べておくこと(1時間)														
	9•10	6章 メ	ディフ	P 1	•2課				教科書の該当事は調べておくこと		か、わからない用語等					
	11· 12	7章 社	:会	1•2	•3•4課				教科書の該当範は調べておくこと		み、わからない用語等					
	13· 14	8章 科	学	1・2計	 果					団を事前に読む	み、わからない用語等					
授業計画	15.	9章 抽	■●	 それである これである これである これできません これできま これできまま これできまま これできま これでき これできま これできま これでき これできま これできま これ これでき これ これでき これ これでき これ これでき これ これでき これ これ これでき これでき	 1·2課				教科書の該当軍	囲を事前に読る	み、わからない用語等					
	17•				2部> 1章 第	 意味が <i>†</i>	とくさんある	葉1・2・3課		西囲を事前に読む	み、わからない用語等					
	16 19•				こいる言葉 1・		_ ((,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		教科書の該当範	団を事前に読む	み、わからない用語等					
	20	3章 形				- m			は調べておくこと教科書の該当筆		み、わからない用語等					
	22	-							は調べておくこと	- (1時間)	み、わからない用語等					
	24	4章 副				_			は調べておくこと	- (1時間)	み、わからない用語等					
	25· 26	5章 才	ノマ	トペ	/6章 慣用	表現 1	•2課		は調べておくこと	_(1時間)						
	27• 28	7章 語	形成	t1·2	2•3•4回				教科書の該当軍は調べておくこと		み、わからない用語等					
	29· 30	確認テス	スト(柞	莫擬	試験)第1回・	第2回			授業内容に係るおくこと(2時間)	模擬試験を実放	もするので、復習して					
	以上	-を下記	の観	点:	・実施する。(割合で評価する 90点以上)・A	5。				点以下)とす	- る。					
					言語	吾情報	知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合					
		定	期詞	t験		0	0				50%					
評価方法			宿是			0	0		0		50%					
履修上の注意	 #	受業前に	、新!	出語	量の宿題を必	ずしてく	ること。									

	_				_											
科目名	ر	文法	去皿	[
科目名(英)	J	apan	ese (Gran	nmaı	· III										
単位数		2	2単位	Ī		時間数		40時間		担当者		河原田	純子			
実施年度		20	20年	度		実施時期	A P	前期		担当者実務網	圣験					
対象学科・学年	E	本語	吾科(1年(6かり	 月)2年										
授業概要			内な場合と				吾の理解	翼に加え、よ	り幅	広い場面で	使われる日	本語をある程	度理解することが			
授業形式	講	義:)	演	習: △	実習:	:	実	 支:	Ж ±	たる方法: 〇	その他:△			
	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度意欲	その他					目標	Į					
	0	0		0		文の内容に	合ったス	文法形式か	どう	かを判断する	ことができ	3				
学習目標	0	0		0						文を組み立て		きる				
(到達目標)	0	0		0		文章の流れ	に合った	た文かどうた	かを	判断すること	ができる					
テキスト・教材 参考図書	佐々	木仁	二子、	松	本紀	子 著『日本語	吾総まと	:め N2 文法	<u>ξ</u> (Γ	日本語能力詞	∜験」対策)』	アスク出版、2	2010年			
	回数	1:総まとめN2文法 第1週 1日目-3日目 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙 2:総まとめN2文法 第1週 4日目-6日目 どは調べておく、また第1週の既習文法の復習のこ 3:総まとめN2文法 第2週 1日目-3日目 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙														
	1.2	1:総まとめN2文法 第1週 1日目-3日目 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙な 2:総まとめN2文法 第1週 4日目-6日目 どは調べておく、また第1週の既習文法の復習のこと 3:総まとめN2文法 第2週 1日目-3日目 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙な														
	3.4	2:総まとめN2文法 第1週 4日目-6日目 どは調べておく、また第1週の既習文法の復習のこと 3:総まとめN2文法 第2週 1日目-3日目 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙な 4:総まとめN2文法 第2週 4日目-6日目 どは調べておく、また第2週の既習文法の復習のこと 5:総まとめN2文法 第3週 1日目-3日 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙な かいまたい 注彙が 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2														
	5.6	2:総まとめN2X法 第1週 4日目―6日目 とは調べておく、また第1週の既省又法の復省のこと 3:総まとめN2文法 第2週 1日目―3日目 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙な 4:総まとめN2文法 第2週 4日目―6日目 どは調べておく、また第2週の既習文法の復習のこる 5:総まとめN2文法 第3週 1日目―3日目 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙な 6:総まとめN2文法 第3週 4日目―6日目 どは調べておく、また第3週の既習文法の復習のこる														
		4:総まとめN2文法 第2週 4日目-6日目 どは調べておく、また第2週の既習文法の復習のこと 5:総まとめN2文法 第3週 1日目-3日目 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙な 6:総まとめN2文法 第3週 4日目-6日目 どは調べておく、また第3週の既習文法の復習のこと 7:総まとめN2文法 第4週 1日目-3日目 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙な														
	7•8	8:税				第4週 4日目一 第5週 1日目一							既習文法の復習のこと み、わからない語彙な			
	9.10	10:	総まと	めN2	文法	第5週 4日目- 第6週 1日目-	-6日目				どは調べてお	く、また第5週の	既習文法の復習のこと			
	2	12:	総まと	:めN2	文法	第6週 4日目-	-6日目				どは調べてお	く、また第6週の	み、わからない語彙な 既習文法の復習のこと			
授業計画	4	14:	総まと	:めN2	文法	第7週 1日目 第7週 4日目-							み、わからない語彙な 既習文法の復習のこと			
技术計画	15·1 6	15: 16:	総まと	:めN2 :めN2	文法	第1·2週7日目 第3·4週7日目							み、わからない語彙な 1の既習文法の復習の			
	17-1	17:	総まと	:めN2	2文法	第5·6週7日目 第7週7日目/	1				教科書の該当	範囲を事前に読	み、わからない語彙な			
	19•2	21:	総まと	めN2	文法	第8週 3日目-	-4日目	<u> </u>			教科書の該当	節囲を事前に読	!の既習文法の復習の み、わからない語彙な			
	0	22:	総まと	:めN2	文法	第8週 5日目-	-7日目				どは調べてお	く、また第8週の日	既習文法の復習のこと			
	(1)5	- #B		(筝≣	コ) な	·実施する。(:	2)	内で小ティ	トを	宝施する	l					
	以上	·を下	·記の)観,	害• 点	引合で評価す	る。				≣ レ. ト)•D(!	59点以下)とす	tる。			
	/////	СД 1 16			• • •								- -			
			<u></u>	4-= a	· F-◇	一	語情報		ĦĔ	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合			
50 /= +->+				期試			<u> </u>	0					50%			
評価方法	<u> </u>		\1\	テス	٦,		<u> </u>	0			0	1	50%			
												1				
	_															
履修上の注意	授	後業前	前に、	新出	出語類	彙を必ず調べ	てくるこ	٤								

*** C **			± .ŀ:	+												
科目名		日本	争们	月												
科目名(英)	S	Study of	Japa	nese	society											
単位数		1単1	立		時間数		15₿	間	担当	者		河原田	I 純子			
実施年度		2020年	₣度		実施時期	Į.	前	期	担当者実	务経験						
対象学科•学年	E	日本語科	(1年	=6か,	月)2年											
授業概要					について基2 多文化理解に								る。自国との違いや			
授業形式	講	義:	Δ	演 ²	習: 0	実	習:	実	技:		※ 主た	 cる方法:C) その他:△			
	言語情報	知的 運動 技能 技能		その他					目	標						
	0	0	0		日本独自の	文化	の背景に	あるもの	りについてネ	きえるこ	とができ	·る。				
学習目標			0		日本独自の											
(到達目標)	0	0	0		考え方や視り	点の	相違を認	め、相手	-の意見を作	頂聴し、₃	多角的に	物事を見ん	ることができる。			
テキスト・教材 参考図書		日本事情	青プロ	ジェ	クト 著『新記	丁版:	話そう考え	えよう 初]級 日本事	情』スリ	ーエー	ネットワーク	'.			
	回数	授業項目・内容 授業外学修指示 今年の新語・流行語 宿題レポートを仕上げること(1時間) 今年の漢字・年賀状を書こう 宿題レポートを仕上げること(1時間)														
	1	今年の新語・流行語 宿題レポートを仕上げること(1時間) 今年の漢字・年賀状を書こう 宿題レポートを仕上げること(1時間)														
	2	今年の漢字・年賀状を書こう 宿題レポートを仕上げること(1時間)														
	3	日本の産業構造① 第6次産業「おひとりさま」 宿題レポートを仕上げること(1時間)														
	4	日本の産業構造② AI 宿題レポートを仕上げること(1時間)														
	5	ロ本の性未構返し 第0次性未 「おいとりさま」														
	6	陶芸		•						宿題レ	ポートを作	土上げること(1	時間)			
	7	茶道								宿題レ	ポートを作	土上げること(1	時間)			
授業計画	8	期末試	E 舍							宿題レ	ポートを亻	土上げること(1	時間)			
	9	701210120	191A													
	10															
	11															
	12															
	13															
	14															
	以上	上を下記	の観	点:	毎回提出する 剛合で評価す 90点以上)・ <i>A</i>	る					·)•D(50)占い下)と	オス			
	750.49	201 阿全	10		T											
		安 縣	5 . 1 . 3	ポート	-	語情	知 知	的技能 〇	運動技能		· 意欲 O	その他	評価割合 50%			
評価方法		定期記				0		0			0		50%			
H Imi / J /		~_\V][415/	, — н									3370			
履修上の注意	掛	是出物を	必ず	·提出	すること											

科目名		会話I	П													
科目名(英)	J	lapanese	Con	vers	ation III											
単位数		2単位	<u>†</u>		時間	数		30時間		担当者		田中 美	和子			
実施年度		2020年	度		実施明	寺期		前期	1	担当者実務	圣験					
対象学科•学年	E	日本語科	(1年	6か	月)2年				Ī							
授業概要		C	_									文法や語彙/	が実生活のなかる。			
授業形式	講	義: 4	Δ	演	習: 〇	実習	習:	9	実技	支:	※ 主	たる方法:0	その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的 運動 技能	態度意欲	その他	<u>ができる</u> 相手の心	情に配り	慮し均	易面に即し	<i>t</i> ==	コミュニケー		ことができる	か説明すること			
					映像資料	山蓄岢	. 贮态	፩/滝田洋ュ	— ja	R) その	化 滴宁 糸	考文献を用し)ろ予定			
少 行囚官)))	.,,,					_ E	(1)	心、迎且、梦					
	回数 1	オリエンテーション これまでの会話学習の振り返り(1時間) シナリオを読む(1時間) シナリオを読む(1時間)														
	2	オリエンテーション ジナリオを読む(1時間) ジナリオを読む(1時間)														
	3	背景理解 シナリオを読む(1時間) シナリオを読む(1時間) シナリオを読む(1時間) シナリオを読む(1時間)														
	4	育京 生														
	5	場面理解	解と消	舌動	(2)						指定箇所の復	習•予習(1時間)				
	6	場面理解	解と消	舌動	(3)						指定箇所の復	習•予習(1時間)				
	7	場面理解	解と消	舌動	(4)						指定箇所の復	習•予習(1時間)				
授業計画	8	場面理解	解と消	舌動	(5)						指定箇所の復	習•予習(1時間)				
	9	場面理解	解と消	舌動	(6)						指定箇所の復	習•予習(1時間)				
	10	場面理解	解と消	舌動	(7)						指定箇所の復	習•予習(1時間)				
	11	場面理解	解と消	舌動	(8)						指定箇所の復	習・予習(1時間)				
	12	場面理解	解と消	舌動	(9)						指定箇所の復	習•予習(1時間)				
	13	場面理解	解と流	舌動	(10)						発表準備(2日	持間)				
	14	総括1									発表準備(2日	持間)				
	15	総括2									発表準備 (2)	時間)				
	以上	Lを下記(の観	点:	割合で評価	iする		期試験(ロ 上)・B(70;			点以上)•D(5	9点以下)とす	⁻ გ.			
		A ===	,,_ ·		_	言語情	報	知的技能	3	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
新年十 十		会話				0		0			0		50%			
評価方法		定期テ	1	(LI 5	以/	0		0	+		0		50%			
履修上の注意	J-	□ ** 0b →		, <u>,</u>	◆ ● ●	¬ <u>+</u> +>	A =	:無既七,		以口中子	(主 + 5 44 1 - 5 ^ =	 舌してください				

科目名	-	ディス	スカ	ッシ	′ョン&テ	<u>"</u> イ^	ヾート										
科目名(英)	D)iscussi	ion &	Deba	te												
単位数		1単	i位		時間数		15時間		担当者		河原田	純子					
実施年度		2020	年度		実施時期	Ħ	前期		担当者実務網	圣験							
対象学科・学年	E	日本語和	科(1年	=6か.	月)2年												
授業概要	=	ディベー	トのノ	レーバ		て方、)				ベート形式で <i>0</i> 講義ごとに設		, -マに基づいて					
授業形式	講	義:	Δ	演	習: 0	実習	? :	実	<u>技</u> :	※ 主加	-る方法:O	その他:△					
	言語 情報	知的 運		その他					目標								
	0	0			身近なトピック	での討	対論の場にお	いて、	自らの考えを	整理し論理性と	:説得力をもっ	て表明できる。					
学習目標	0	0	0		相手の意見に	うまくす	賛成や反対の	の意思	を伝えることで	で、円滑に討論	・ディベートを彳	うことができる。					
(到達目標)																	
	<u> </u>																
	H		授業項目・内容 授業外学修指示 授業概要説明、ディベート・ディスカッションについて ^{次回の事前準備・情報収集をすること(1時間)}														
テキスト・教材 参考図書	<i>t</i> _c	授業概要説明、ディベート・ディスカッションについて 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間)															
	回数	数 授業項目·内容 授業外学修指示															
	1	授業概要説明、ディベート・ディスカッションについて 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間)															
	2	技来概要説明、ティペート・ティスカッションについて 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間) 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間) 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間) 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間)															
	3	息兄展開・情報収集について															
	4	質問・反駁のしかたについて 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間) 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間)															
	5	ディスカッション実践「日本の文化・習慣」 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間) 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間)															
	6	ディベ								次回の事前準備	請・情報収集をす	ること(1時間)					
	7		-		 動き方∣					次回の事前準備	請・情報収集をす	ること(1時間)					
授業計画	8				<u>************************************</u>					振り返りレポート	-の作成(2時間)						
	9	711		T 11.20. 1	נוין אנידראן												
	10																
	11																
	12																
	13																
	14																
	15																
	(1) 加し	、講義	中に約	沼介さ	れる表現技	法を用	いて効果的	りに発	き言できている	 -回の講義で程 か(50%)、の2 点以上)	点により評価						
					言	語情幸	段 知的抗	支能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合					
	_		事前準			0	0					50%					
評価方法	<u> </u>	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	参加・3	発言						0		50%					
	_																
	\vdash																
	\vdash																
履修上の注意	利	責極的に	こ発記	する	ように心掛け	て下さ	z()°		1	ı							

된 다 스			 ⊢≑∓≑	中 F 4	2						rit -	/ Г µ н К				
科目名																
科目名(英)	S			oaasi					Im . s. aba							
単位数 		日標 日標 日標 日標 日標 日標 日期時応答」: やりとりを聞いて、適切な回答を即時に判断できる 「即時応答」: やりとりを聞いて、適切な回答を即時に判断できる 「課題理解」: 話の中から指示や依頼内容を理解し、何を求められているか判断できる 「ポイント理解」: 話の中から質問されたことにポイントを絞って聞き取れる N2レベルの文章の内容が予測できる 文章の構成や接続、文末表現・キーワードなどから大意をとらえることができる 左々木仁子、松本紀子 著『日本語総まとめ N3 読解』アスク出版、2010年 技業項目・内容 投業外学修指示 日本語総まとめN2読解 意見文①② 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の確認と暗記(時間) 日本語総まとめN2読解 意見文③④ 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の確認と暗記(時間) 日本語総まとめN2読解 第3週実戦問題(テスト形式) 同違えた問題、難しかった問題の復習・未知の確認と時記(時間) 日本語総まとめN2読解 第3週実戦問題(テスト形式) 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知のの確認と時記(時間) 日本語総まとめN2読解 論説文①② 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知のの確認と暗記(時間) 日本語総まとめN2読解 論説文①② 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知のの確認と暗記(時間) 日本語総まとめN2読解 論説文③④ 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知のの確認と暗記(時間) 日本語総まとめN2読解 論説文③④ 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知のの確認と暗記(時間) 日本語総まとめN2読解 第6週実戦問題(テスト形式) 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知のの確認と暗記(時間) 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知のの確認と暗記(時間) 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知のの確認と暗記(時間) 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知のの確認と暗記(時間) 日本語の発音に慣れる練習-特殊音・文法項目の聞き取り練習 日本語の発音に慣れる練習-特殊音・文法項目の聞き取り練習 の確認と暗記(時間) 日本語の発音に慣れる練習-特殊音・文法項目の聞き取り練習 の確認と暗記(時間) 日本語の発音に慣れる練習-特殊音・文法項目の聞き取り練習 の確認と暗記(時間) 日本語の発音に問題の復習・未知のの確認と暗記(時間) 日本語の発音に慣れる練習-特殊音・文法項目の聞き取り練習 日本語の発音に関れる練習-特殊音・文法項目の聞き取り練習 日本語の発音に関れる練習-特殊音・文法項目の聞き取り練習 日本語の発音に関れる練習-特殊音・文法項目の聞き取り練習 日本語の発音に関語を対する検習・表知の確認と暗記(時間) 日本語の発音に関語を対する検認を対する対するは表述を対する 日本語の発音を対する 日本語の表述を対する 日本語の表述を対する 日本語の表述を対する 日本語の表述を対する 日本語の表述を 日本語の表述														
実施年度		202	20年度		実施時期		前期	担	当者実務網	圣験						
対象学科・学年	E	本語	吾科(1年	E6か	月)2年											
授業概要	悄	青報材	食索など	゙のス	キルを身に作	けける。耳	徳解はN2L	ベルの	り即時応答	、課題 理	異解、ポイ					
授業形式	講	義:	0	演	習: Δ	実習:		実技:		*	主たるプ	5法∶○	その他:△			
	言語情報	知的 技能	運動 態度 技能 意欲	その他					目標							
	0	- 1														
学習目標 (到達目標)	0	_														
(刘庄口馀/	0	_								イントを	於つて 宜	さ取れる				
	0									いた大音:	たレムラス	スーレがで	<u></u> キス			
ニナフしおせ			+1-7	+/\ →								מרכיוי נ	ි ට ර			
テキスト・教材 参考図書																
	回数	授業項目・内容 授業外学修指示 1 日本語総まとめN2読解 意見文①② 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の語の確認と暗記(1時間) 2 日本語総まとめN2読解 意見文③④ 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の語の確認と暗記(1時間)														
	1	講義: ○ 演習: △ 実習: 実技: ※ 主たる方法:○ その他:△														
	2	佐々木仁子、松本紀子 著『日本語総まとめ N3 読解』アスク出版、2010年 佐々木仁子、松本紀子 著『日本語総まとめ N3 聴解』アスク出版、2017年 授業項目・内容 授業外学修指示 日本語総まとめN2読解 意見文①② 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の確認と暗記(1時間) 日本語総まとめN2読解 意見文③④ 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の確認と暗記(1時間) 日本語総まとめN2読解 説明文①② 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の確認と暗記(1時間) 日本語総まとめN2読解 第3週実戦問題(テスト形式) 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の確認と暗記(1時間) 日本語総まとめN2読解 第3週実戦問題(テスト形式) 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の確認と暗記(1時間)														
		日本語総まとめN2読解 意見文①② 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の確認と暗記(1時間) 日本語総まとめN2読解 意見文③④ 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の確認と暗記(1時間) 日本語総まとめN2読解 説明文①② 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の確認と暗記(1時間) 日本語総まとめN2読解 第3週実戦問題(テスト形式) 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の確認と暗記(1時間)														
	Ě	2 日本語総まとめN2読件 息兄又③4 の確認と暗記(1時間) 3 日本語総まとめN2読解 説明文①② 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知のの確認と暗記(1時間) 4 日本語総まとめN2読解 第3週実戦問題(テスト形式) 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の復習・未知の問題に関係的に1時間)														
	·	日本語総まとめN2読解														
	5	の確認と暗記(1時間) 4 日本語総まとめN2読解 第3週実戦問題(テスト形式) 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知のの確認と暗記(1時間) 5 日本語総まとめN2読解 論説文①② 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知のの確認と暗記(1時間) 6 日本語総まとめN2読解 論説文③④ 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知のの確認と暗記(1時間)														
	6	4 日本語総まとめN2読解 第3週美戦问題(ナスト形式) の確認と暗記(1時間) 5 日本語総まとめN2読解 論説文①②														
	7															
	8	日本	語総ま	とめい	N2読解 第6词]実戦問	題(テスト	形式)					の復習・未知の語彙			
	9	模擬	経試験							間違えた	引題、難し が	かった問題	の復習・未知の語彙			
授業計画	10	日本	語の発	音に	 慣れる練習-	持殊音•	文法項目	の聞き	取り練習	間違えた	問題、難した	かった問題	の復習・未知の語彙			
	11	即時	応答							間違えた	問題、難した	かった問題	の復習・未知の語彙			
	12	課題	理解①	-条4		バら聞く約	 東習			間違えた	問題、難した	かった問題	の復習・未知の語彙			
	13	理縣	理解の	_和 =	チの反応から	するべき	ことを理能	アナス約	車 廻	間違えた	問題、難した	かった問題	の復習・未知の語彙			
							CC2/2/	+ 7 '0/11	~ =				の復習・未知の語彙			
							ドフ 4 + 11						の復習・未知の語彙			
										の確認と	音記(1時間)				
	16	概要	理解①	一話の	カキーワードを	を抽出す	る練習			の確認と	音記(1時間)				
	17	概要	理解②	一相	手の主張や意	見を聞き	を取る練習			の確認と	音記(1時間)				
	18	統合	理解①	-2人	、以上の会話	を聞く練 [:]	習			の確認と	音記(1時間)	の復習・未知の語彙			
	19	統合	理解②	-総合	合練習						問題、難し <i>が</i> 音記(1時間		の復習・未知の語彙			
	20	総復	習(確認	マティ	ペト)						問題、難し <i>が</i> 音記(1時間		の復習・未知の語彙			
	以上	を下	記の観	点:	を実施する。(割合で評価す 90点以上)・ <i>A</i>	る。							-る。			
					言	語情報	知的技	能	重動技能	態度·意	熱	その他	評価割合			
		定	期試験	筆記	己)	0	0			0			50%			
評価方法			小テス	۲ ト			0			0			50%			
履修上の注意	宿	言題を	を必ずす	るこ	と。											

科目名	糸	総合	日本語	吾Ⅲ	[
科目名(英)	G	enera	l Japanes	e III												
単位数		日常的に使用される基本的な語彙や表現を使って、伝えたいことを文にして伝えられるようになる。 講義: ○ 演習: 女技: ※ 主たる方法:〇 その他:△														
 実施年度		8単位 時間数 120時間 担当者 金子 陽平 2020年度 実施時期 前期 担当者実務経験 日本語科(1年6か月)2年 初級の学習をひと通り終えた学習者を対象とし、日本語の基本的な文の構造や文を組み立てる規則を理解して常的に使用される基本的な語彙や表現を使って、伝えたいことを文にして伝えられるようになる。 講義: ○ 演習: △ 実習: 実技: ※ 主たる方法:○ その他:△														
対象学科・学年	В	日本語科(1年6か月)2年 初級の学習をひと通り終えた学習者を対象とし、日本語の基本的な文の構造や文を組み立てる規則を理解し日常的に使用される基本的な語彙や表現を使って、伝えたいことを文にして伝えられるようになる。 講義: 〇 演習: △ 実習: 実技: ※ 主たる方法:〇 その他:△														
7320 7 11 3 1																
授業概要																
授業形式	講	8単位 時間数 120時間 担当者 金子 陽平 2020年度 実施時期 前期 担当者実務経験 日本語科(1年6か月)2年 初級の学習をひと通り終えた学習者を対象とし、日本語の基本的な文の構造や文を組み立てる規則を理解し常的に使用される基本的な語彙や表現を使って、伝えたいことを文にして伝えられるようになる。 講義: ○ 演習: 本技・ ※ またる方法:○ その他:△ 講覧: ○ 神級レベルの語彙、文法の意味を理解し、運用することができる。 日常 月辺に呼吸する山木率 ヤ和玉町の高語畑について、自分の悪元、窓辺を座へるーである。														
	言語 情報	日標 知的 課題 態度 技能 技能 技能 技能 技能 技能 技能 技														
w == -	<u> </u>	_										きを述べることか				
学習目標 (到達目標)		_					を持つ相手	+ ح	:、興味•閏/	〉。を持って情	報や意見ので	を換ができる。				
					JC G G JCM (.37273	214 - 14 1		3C 3C 3R 1211	J C 14 J C 1A	TA (/E/)C-0//					
テキスト・教材 参考図書	松	田浩	志、亀田美	美保	著『テーマ別「	中級から	ら学ぶ日本詞	語(.	三訂版)』 ‡	朱式会社 研	T究社 2014					
	回数	日常的に使用される基本的な語彙や表現を使って、伝えたいことを文にして伝えられるようになる。 講義: ○ 演習: 実技: ※ 主たる方法:○ その他:△														
	1~4	授業項目・内容 授業外学修指示														
	5~8	4 人間の結びつきがどんどん弱くなる現代の「孤」の社会を考える。 第4課 たとえる 〈猫に小判〉 第3課、第4課の復習(2時間) 要領良くわかりやすく伝えるために使われることわざや例え、慣用的表現について 第5課の言葉予習(1時間) 第5課 あきれる 〈満員電車〉 第6課の言葉予習(1時間)														
	-	#8 第4課 たとえる <猫に小判> 要領良くわかりやすく伝えるために使われることわざや例え、慣用的表現について 第3課、第4課 復習 第5課 あきれる <満員電車> 異なる文化とどう向き合うか、そこで見たり聞いたりしたことをどう学びにつなげる 第3課、第4課の復習(2時間) 第5課の言葉予習(1時間) 第6課の言葉予習(1時間)														
	13	# 3課、第4課 復習														
	l	#35課、第4課 復省 * 第5課 あきれる 〈満員電車〉 第6課 の言葉予習(1時間) * 第6課 つたえる 〈思いやり〉 「言葉の伝わり方、伝え方について考える。 * 第5課、第6課の意葉予習(2時間)														
		3 異なる文化とどう向き合うか、そこで見たり聞いたりしたことをどう学びにつなげる ~ 第6課 つたえる 〈思いやり〉 7 言葉の伝わり方、伝え方について考える。 第5課、第6課 復習 第7課の言葉予習(1時間)														
	22	見栄	えを大切に	すること		のことなり	のか、「外見と「	中身	」について考							
	23~ 26					思い込み	について考える	5 。								
					、 七 、 七 、											
授業計画	31	日常	経験するIT(の身近	な問題を取り上げ	、社会の	変革にどう対処	処す.	べきかを考え							
	32~					5毎日の	生活についてネ	考え	る。							
	36	第9課	、第10課 復 ————	[習						Nie rapir Sie rea						
					-	関係を示	テーマにし 芋!!	\## 4	代の「ためロ 、							
	41	や間違	違った敬語、	お年寄	:りに対する軽視、I	T機器に	頼った表面的な	人は	間関係などに							
	45	とがE	1常の人付き	合いに												
					のにおい〉思い出	をテーマ	に、何がどうして	て思	い出として残							
						を持つよ	うになるのか者	考える)				
	54		習者ひとりひと 課、第14課 (社在、将来の生活に	直接影響	響のある、自然	<u></u> き	付き合い方と	第15課の言葉						
			末、第14 誌 1 果 ふれあう		かばん>					第1課~第15部	果の復習(2時間)					
	59 60	自分 総復習		解しなり	いで、異なる文化は	は理解で	きないのではな	よいた	かというテーマ	第1課~第15誤	果の復習(2時間)					
				<u> </u>			£									
	以上	を下	記の観点・	割合	施する。 (2)小 で評価する。 気以上)・A(80点				-	上)•D(59点	以下)とする。					
評価方法					言語	告情報	知的技能	1	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合				
			定期試	験		0	0					50%				
			小テス			0	0			0		50%				
履修上の注意	新	ilu	 言葉の予	 習、学		をする	<u> </u> こと。									

科目名	,	스타	£πτ													
科目名(英)	J			onvers												
単位数																
実施年度		202	20年度	Ę	実施時	期	経験									
対象学科・学年	E	日本語	5科(1	年6か	月)2年											
授業概要	2	本語に	よる	コミュニ	ケーション にんしょう	能力とし										
授業形式	講	義:	Δ	演	習: 0	実習	3 . 3 .	実	技:	※ 主た	-る方法∶○	その他:△				
	言語 情報	本語によるコミュニケーション能力として対話力を身につける。また、できるだけ早い段階から段落を構、(固まりで)話すことを目標とする。 講義: Δ 演習: O 実習: 実技: ※ 主たる方法: O その他: 講義: Δ 演習: O 実習: 実技: ※ 主たる方法: O その他: 同数														
	0	0	() 	学校・職場・	地域など	どの生活場面	にお	いて、日本語で	の自然な会話	の使い分けが	できる。				
学習目標	0										ることができる	00				
(到達目標)	0	〇 〇 ○ 学校・職場・地域などの生活場面において、日本語での自然な会話の使い分けができる。 〇 トピックについて話すときに必要な文型、表現、語彙を考え、運用することができる。 〇 相手の伝えたいことを理解し、自分の意見を述べることができる。 加藤早苗(監修)、秋山信子・坂本舞(著)『WEEKLY J: 日本語で話す6週間』凡人社、2012年 日数 授業項目・内容 授業外学修指示 1 Unit 12 意見を言う 授業終了時に示す課題について、レポートを作ること(2時間) 1 Unit 12 意見を言う 授業終了時に示す課題について、レポートを作ること(2時間)														
		加藤早苗(監修)、秋山信子・坂本舞(著)『WEEKLY J: 日本語で話す6週間』凡人社、2012年 授業項目・内容 授業外学修指示 提業終了時に示す課題について、レポートを作														
	ħ	回数 授業項目・内容 授業外学修指示 1 Unit 12 意見を言う 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間) 2 Unit 13 国のルールやよくないと言われていることについて話す 授業終了時に示す課題について、レポートを作成することについて話す														
	回数	O 相手の伝えたいことを理解し、自分の意見を述べることができる。 加藤早苗(監修)、秋山信子・坂本舞(著)『WEEKLY J: 日本語で話す6週間』凡人社、2012年 回数 授業項目・内容 1 Unit 12 意見を言う 授業終了時に示す課題について、レポートを作ってと(2時間) 2 Unit 13 国のルールやよくないと言われていることについて話す 授業終了時に示す課題について、レポートを作ってと(2時間) 3 Unit 14 失敗談を話す 授業終了時に示す課題について、レポートを作っていて、レポートを作っていて、レポートを作っていて、レポートを作ってと(2時間) 4 Unit 15 聞いた話をもとに人に伝える 授業終了時に示す課題について、レポートを作っては、とは、日間のに、マートを作りること(2時間)														
	1	回数授業項目・内容授業外学修指示1 Unit 12 意見を言う授業終了時に示す課題について、レポートを作ること(2時間)2 Unit 13 国のルールやよくないと言われていることについて話す授業終了時に示す課題について、レポートを作ること(2時間)3 Unit 14 失敗談を話す授業終了時に示す課題について、レポートを作ること(2時間)														
	2	1 Unit 12 意見を言う 授業終了時に示す課題について、レポートを作ること(2時間) 2 Unit 13 国のルールやよくないと言われていることについて話す 授業終了時に示す課題について、レポートを作ること(2時間) 3 Unit 14 失敗談を話す 授業終了時に示す課題について、レポートを作ること(2時間)														
		トピックについて話すときに必要な文型、表現、語彙を考え、運用することができる。 日本語の伝えたいことを理解し、自分の意見を述べることができる。														
	Ľ.	加藤早苗(監修)、秋山信子・坂本舞(著)『WEEKLY J: 日本語で話す6週間』凡人社、2012年 一型数 授業項目・内容 授業外学修指示 投業終了時に示す課題について、レポートを作ること(2時間) 投票終了時に示す課題について、レポートを作ること(2時間) 投票経行を記述していること(2時間) 投票経行を記述していること(2時間) 投票経行を記述していること(2時間) 投票経行を記述していること(2時間) 投票経行を記述していること(2時間) 投票経行を記述していること(2時間) 投票経行を記述していること(2時間) 投票経行を記述していること(2時間) 日本に対していること(2時間) 日本に対しているに対していること(2時間) 日本に対しているに対していること(2時間) 日本に対しているに対してはなるに対しているに対しているに対しているに対しているに対しているに対しているに対しているに対しているに対してい														
	5	○ 日本の伝えたいことを理解し、自分の意見を述べることができる。 加藤早苗(監修)、秋山信子・坂本舞(著)『WEEKLY J: 日本語で話す6週間』凡人社、2012年 回数 授業項目・内容 授業終了時に示す課題について、レポートを作ること(2時間) 2 Unit 13 国のルールやよくないと言われていることについて話すること(2時間) 3 Unit 14 失敗談を話す 授業終了時に示す課題について、レポートを作ること(2時間) 4 Unit 15 聞いた話をもとに人に伝える 授業終了時に示す課題について、レポートを作ること(2時間) 5 Unit 16 うれしかった思い出を話す 授業終了時に示す課題について、レポートを作ること(2時間) 6 Unit 17 赤いセーターを着ている人は誰ですか 授業終了時に示す課題について、レポートを作ること(2時間) 7 Unit 18 謝る 投業終了時に示す課題について、レポートを作ること(2時間) 8 Unit 19 相手に忠告する 授業終了時に示す課題について、レポートを作ること(2時間) 9 Unit 20 雷話をする 授業終了時に示す課題について、レポートを作ること(2時間) 9 Unit 20 雷話をする														
	6	Unit	17 赤	いセー	ターを着ている		 単ですか			授業終了時に示	す課題につい	て、レポートを作成す				
	7	Unit	18 謝	る						授業終了時に示	す課題につい	て、レポートを作成す				
授業計画	8	Unit	19 相	手に忠	<u>告</u> する					授業終了時に示	す課題につい	て、レポートを作成す				
	9	Unit 2	20 電	話をする	5					授業終了時に示	す課題につい	て、レポートを作成す				
	10	Unit 2	21 状	況を聞ぐ	く・答える					授業終了時に示	す課題につい	て、レポートを作成す				
	11	Unit 2	22 日	本を来	 てから変わっ	たことに	ついて話す				きす課題について	て、レポートを作成す				
	12	Unit 2	23 好	きな場所	ーーー 所を紹介する						す課題につい	て、レポートを作成す				
	13	Unit 2	24 経	験に基	づいてアドバ	イスする	· >				す課題につい	て、レポートを作成す				
	14	Unit 2	25 相	手に苦	情・文句を言 [、]	 う					まま題について	て、レポートを作成す				
	15	Unit :	30 問(ハ合わせ	 ±る						ます課題について	て、レポートを作成す				
	以」	上を下	記の	観点・語	積極性・内容 調合で評価で 90点以上)・	する				点以上)・D(59	(点以下)とす	⁻ శం				
評価方法						言語情報	報知的抗	支能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合				
		会	話作	成∙発	表	0	0			0		50%				
		定	期テス	(ト(口)	頂)	0	0			0		50%				
履修上の注意	擅	受業終	冬了後	に、次	のUnitの課	題を配	布するので	、課是	題をしっかり デ	尼成し、積極的	に発話して	ください。				

科目名	Į	徳解I	Π													
科目名(英)	J	apanese	List	enin	g ∏											
単位数		2単化	立		時間数		30時間	担当者		金子『	 易平					
実施年度		2020年	F度		実施時期		前期	担当者実務	経験							
対象学科・学年	E	日本語科	(1年	6か.	月)2年											
授業概要					・徴に慣れ、全般 トラテジーを学ひ				、日本語能力	試験N3に合	格できるレベル					
授業形式	講	義:	0	演 ²	習: △ 多	実習:	美		※ 主力	る方法: O	その他:△					
	言語情報	知的 運動 技能 技能		その他			<u> </u>	目標	<u> </u>							
	0	0			日常生活に役立	立つ、1	簡単な聞き耳	なりや説明を聞	引いて理解し、	生活の中では	軍用できる。					
学習目標	0	0			事前に示されて	いる	聞くべきこと	をふまえ、ポイ	ントを絞って聞	引くことができ	る。					
(到達目標)	0	0			テキスト全体か	ら話者	きの意図や き	E張などを聞き	、適当な答え	が選択できる	5 .					
				2 1#		= -	/ 	= = = = = = = = = = = = = = = = = = = =	<i>E</i> `		-					
テキスト・教材 参考図書		1 問題紹介 辛吉に増れる 配布されたプリント、わからなかった用語等復習する														
	回数	ジェイ・リサーチ出版、2010年 授業項目・内容 授業外学修指示 1 問題紹介 音声に増れる 配布されたプリント、わからなかった用語等復習する														
	1	1 問題紹介、音声に慣れる														
	2	「向 退 紹 う 「、														
	3	2 課題理解①														
	4	3 課題理解② 配布されたプリント、わからなかった用語等復習すこと(1時間) 4 ポイント理解① 配布されたプリント、わからなかった用語等復習するれたプリント、わからなかった用語等復習する。														
	5	3 未超理解② こと(1時間) 4 ポイント理解① 配布されたプリント、わからなかった用語等復習すった(1時間) 5 ポイント理解② 配布されたプリント、わからなかった用語等復習するれたプリント、わからなかった用語等復習する。														
	6	概要理							こと(1時間) 配布されたプリ	ント、わからなか	った用語等復習する					
	<u> </u>	概要理							こと(1時間) 配布されたプリ	ント、わからなか	った用語等復習する					
授業計画	7								こと(1時間)	ント、わからなか	った用語等復習する					
	8	小テスト							こと(1時間) 配布され <i>た</i> プリ	ント、わからなか	った用語等復習する					
	9	発話表:							こと(1時間)		った用語等復習する					
		発話表							こと(1時間)		った用語等復習する					
		即時応							こと(1時間)							
	12	即時応	答②						こと(1時間)		った用語等復習する					
	13	実践問	題①	1					こと(1時間)		った用語等復習する					
	14	実践問	題②	1					配布されたブリ: こと(1時間)	ント、わからなか	った用語等復習する					
	15	実践問	題③	١					配布されたプリンスと(1時間)	ント、わからなか	った用語等復習する					
	以上	上を下記	の観	点:	宇実施する。(2) 割合で評価する。 90点以上)・A(8)				3点以下)とす	⁻ る。					
					言語′	情報	知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合					
		定	期記	扶験	©		0				50%					
評価方法		/	トテス	スト	(0		0		50%					
履修上の注意	<u></u>	音声教材	· を使	[い授	業を進めていく	ので、	 授業への不	_ 参加、居眠り1	 よ減点します。							

科目名	1	作文	7													
科目名(英)	J	apane	ese W	/riting												
単位数		2直	単位		時間数		30時間	担当者		金子『	易平					
実施年度		2020	0年度	ŧ	実施時期		前期	担当者実務	経験							
対象学科・学年	E	本語	科(1	年6か.	月)2年											
授業概要					ピーチをすること ける根拠となる			伝える力を身	につけることが	ができる。						
授業形式	講	義:	Δ	演 [:]	習: 0 :	実習:	実	 !技:	※ 主力	 -る方法:○	その他:△					
	言語 情報			態度 意欲 その他				目標								
	0	0	(0	自分の意見、	考えを	初中級、中級	レベルの語彙	を、文法を使っ	てまとめるこ	とができる。					
学習目標	0	0	(0	トピックについ	ての意	見、考えを他	き者に分かりや	りすく述べるこ	とができる。。						
(到達目標)																
	_															
	-															
テキスト・教材 参考図書	具	フレ イナ ユニフ / 尚ニフ/4 吐用)														
	回数	授業項目・内容 授業外学修指示														
	1	1 自己紹介 「私」について スピーチを・考える/覚える(1時間)														
	2	自己紹介「私」について スピーチを・考える/覚える(1時間) スピーチを・考える/覚える(1時間) スピーチを・考える/覚える(1時間) スピーチを・考える/覚える(1時間) スピーチを・考える/覚える(1時間)														
	3	2 インタビュー 日本人の学生に聞いてみたいこと スピーチを・考える/覚える(1時間) スピーチ(1) 異文化に触れて不思議に感じたこと① スピーチを・考える/覚える(1時間)														
	4	2 インダビュー 日本人の学生に聞いてみたいこと 3 スピーチ(1) 異文化に触れて不思議に感じたこと① スピーチ・考える/覚える(1時間) 4 スピーチ(1) 異文化に触れて不思議に感じたこと② スピーチ・考える/覚える(1時間)														
	5	3 人ピーチ(1) 異文化に触れて不思議に感じたこと② スピーチを・考える/覚える(1時間) 4 スピーチ(1) 異文化に触れて不思議に感じたこと② スピーチを・考える/覚える(1時間)														
	6	スピ-	ーチ(1)発表					スピーチを・考え	る/覚える(1時	:間)					
	7	スピ-	ーチ(2) 紹	介したい国や町	1①			スピーチを・考え	る/覚える(1時	:間)					
授業計画	8	スピー	ーチ(2) 紹		Ţ <u>2</u>			スピーチを・考え	る/覚える(1時	間)					
	9	ディス	スカッ	ション	(2)美容整形	賛成			スピーチを・考え	る/覚える(1時	間)					
	10	スピ-	ーチ(2)発表					スピーチを・考え	る/覚える(1時	間)					
	11	ディス	スカッ	ション	(3)日本人はと	どうして	?		スピーチを・考え	る/覚える(1時	間)					
	12	プレも	ゼンテ	- ーマ決	. め				スピーチを・考え	る/覚える(1時	:間)					
	13	プレも	ゼン戍	内容					スピーチを・考え	る/覚える(1時	間)					
	14	最終:	発表	1					スピーチを・考え	る/覚える(1時	間)					
	15	最終:	発表	2					スピーチを・考え	る/覚える(1時	間)					
	以上	を下	記の	観点・書	双回実施する。(割合で評価する 90点以上)・A(0			点以上)・D(59	点以下)とす	る。					
						情報	知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合					
		宿		レポート	• (O	0		0		50%					
評価方法	<u> </u>		発	表			0		0		50%					
履修上の注意	 	_ _ /ポー	 トや宿	── 宮題はシ	欠の月曜日まで	に提出	 出して下さい。									

科目名		売解 I	Π													
科目名(英)	J	apanese	Rea	ding	Ш											
単位数		2単化	立		時間数		30時間		担当者		金子『	場平				
実施年度		2020年	F度		実施時期	l	前期		担当者実務	経験						
対象学科•学年	E	本語科	(1年	56か.	 月)2年											
授業概要	\ \ \ \	らようにた	ふるこ	とを	目的とする。ま	た、語	売んだあとて	で、内	容に関する簡	簡単な説明・意	見が言える	で内容を理解でき ように指導してい が読めるようにす				
授業形式	講	義:	0	演 [·]	習: △	実習	·:	実	 技:	※ 主 <i>t</i> :		その他:△				
	言語 情報	知的 運動 技能 技能		その他	1				目標	<u> </u>						
	0	0			日常生活に必	必要な	語彙、文型	、表	現がある程度	ξ理解し、適当	な答えが選	択できる。				
学習目標	0	0			メールやお知	らせな	などを読んで	で情報	報を探し出し、	必要な情報	を読み取るこ	とができる。				
(到達目標)	0	0			授業で扱った	テー	マの内容に	つい	て、自分の体	験や考えを誰	:理的に述べ	ることができる。				
テキスト・教材 参考図書		①JLPTの説明②書き言葉に慣れよう③漢語と和語 必ず、新出語彙を調べてくること(1時間)														
	回数	授業項目・内容 授業外学修指示 の														
	1	1 ①JLPTの説明②書き言葉に慣れよう③漢語と和語 ④助詞のような働きをする言葉 。 ①基本的な文を読む練習														
	2	② 割完全マスターN3広告文(p58) 必ず、新出語彙を調べてくること(1時間) ② 前売をスピードアップする 必ず、新出語彙を調べてくること(1時間)														
	3	2 ②新完全マスターN3広告文(p58) 3 ①文の読み方をスピードアップする ②速読の練習/新完マスN3 p18、44、60 必ず、新出語彙を調べてくること(1時間)														
	<u> </u>	3 ①文の読み方をスピードアップする 必ず、新出語彙を調べてくること(1時間) ②速読の練習/新完マスN3 p18、44、60 必ず、新出語彙を調べてくること(1時間) ・①キーワードから文を推測・答えを選ぶ 必ず、新出語彙を調べてくること(1時間)														
		3 ②速読の練習/新完マスN3 p18、44、60 4 ①キーワードから文を推測・答えを選ぶ ②受身・使役・使役受身・授受(誰が誰に?/誰がする?)確認 - ①キーワードから文の読み方をスピードアップする 必ず、新出語彙を調べてくること(1時間)														
	5	②「問い」	にある	5+-	ワードから本文を 方を変える練習	読む				必ず、新出語彙						
	6	②筆者の	意見、	下線	部問題、指示文 σ		5									
授業計画	7	②グラフp	70~	73、実	タイムの感覚を覚 力養成p78~81、	p82~8	35, p100, p120	~12 1	1	必ず、新出語彙	を調べてくること	(1時間)				
汉末时四	8				タイムの感覚を覚 ドを本文から読み					必ず、新出語彙	を調べてくること	:(1時間)				
	9	N3読解模 p148~15			29					模擬試験で配布 間)	iされたプリントを	を復習すること(2時				
	10	N3読解模	擬試							模擬試験で配布	iされたプリントを	を復習すること(2時				
	11	公式問題 N3読解模	擬試								iされたプリントを	を復習すること(2時				
		公式問題 N3読解模								間) 模擬試験で配布		を復習すること(2時				
	12	ベスト模i N3読解模								間)	さわ たプリントを	を復習すること(2時				
	13	ベスト模記 N3読解模	式 第	2回						間)						
	14	ベスト模詞								間)		を復習すること(2時				
	15	N3読解	確	認テス	スト					授業内で配布さ (2時間)	れたブリントを全	全て復習すること				
	以上	を下記	の観	点:	を実施する。(2 割合で評価する。 90点以上)・A	る。					点以下)とす	<i>-</i> る。				
					言	語情報	日 知的技	能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合				
		定	期詞	t 験		0	0					50%				
評価方法		1	トティ	スト		0	0			0		50%				
履修上の注意	扫	受業前に	、新	出語	彙を必ず調べ	てくる	こと									

科目名	7	(情報) 技能 技能 意欲 でが地														
科目名(英)	J	apanese	cha	racte	ers and vocab	ulary I	I									
単位数		4単位	立		時間数		60時間		担当者		金子(陽平				
実施年度		2020年	F度		実施時期	1	前期		担当者実務網	圣験						
対象学科・学年	E	本語科	(1年	6か.	月)2年											
授業概要	2	5。「聞く・	読む	: 書	く話す」の4つ	の言語										
授業形式	講	義: 6	0	演 [:]	習: △	実習	:	実担	支:	※ 主#	≿る方法:○	その他:△				
	言語 情報	知的 運動 技能		その他					目標							
	0	0			前後の文脈が	から空	所に入る語	を選	択することが	できる。						
学習目標	0	0			出題された語	きと意味	未的に近い語	吾を記	選択すること	ができる。						
(到達目標)	0	0			複数の文の「	中から	語が正しく使	きわれ	れている文を	選択すること	ができる。					
	0	0			接頭辞や接り	尾辞な	どを入れ、沂	(生	語や複合語を	を作り、応用で	できる 。					
テキスト・教材 参考図書		スリーエーネットワーク、2017年 授業項目・内容 授業外学修指示 1.0 (第1部) 1.2課 人間関係1.2 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語														
	回数	回数 授業項目・内容 授業外学修指示 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語														
	1.2	·2 〈第1部〉 1·2課 人間関係1·2 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語は調べておくこと(1時間) ・4 3・4・5 課 生活1・2・3 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語														
	3.4	2 (第1部2 1・2誌 入间関係1・2 は調べておくこと(1時間) 4 3・4・5課 生活1・2・3 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用は調べておくこと(1時間) 6 宝力を試そう(1~5理) 6・7理 体1・2 羊突 健康 病気 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用														
	5.6	は調べておくこと(1時間) *** *														
		は調べておくこと(「時間) 実力を試そう(1~5課) 6・7課 体1・2 美容、健康、病気 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語 は調べておくこと(1時間) 大き 8・9・10理 教味と旅行1・2・3 スポーツ 芸術 ファッション 旅行 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語														
		大力を試でフ(1~5) 6・7 1・2 大谷、健康、病丸 は調べておくこと(1時間) 2・8 8・9・10課 趣味と旅行1・2・3 スポーツ、芸術、ファッション、旅行 数科書の該当範囲を事前に読み、わからない用は調べておくこと(1時間) 数科書の該当範囲を事前に読み、わからない用														
	9.10								校生 活	は調べておくこれ		み、わからない用語等				
	12				1・2 実力を	試そう	(11~14課	:)		は調べておくこ	と(1時間)	み、わからない用語等				
授業計画	13· 14	15.16	•17	'課 ~	社会 1・2・3					は調べておくこ	と(1時間)					
	15• 16	18•19	課	自然	1・2 実力を	試そう	(15~19課	:)		は調べておくこ	と(1時間)	み、わからない用語等				
	17• 16	20-21	課							教科書の該当筆は調べておくこ		み、わからない用語等				
	19· 20	〈第2部	> 1	•2課	和語動詞:	漢語動	詞				の囲を事前に読む	み、わからない用語等				
	21.	2•3課	形容	字詞•	 副詞					教科書の該当筆	の囲を事前に読む	み、わからない用語等				
	23.	4•5課	<u>ナ</u> ノ	/マト/	~						の囲を事前に読む	み、わからない用語等				
	25.				 bすい漢語・言	- 1 1 5 6 -	·····································				の囲を事前に読む	み、わからない用語等				
	26				- 9 0 7 天	10门关/	C 炔 我			は調べておくこの教科書の該当筆		み、わからない用語等				
	28	8課 語								は調べておくこ	と(1時間)	をするので、復習して				
	30	模擬試	缺 5	第1回]·第2回					おくこと(2時間)						
	以上	を下記	の観	点:	宇実施する。(2 割合で評価す 90点以上)・A	る。					9点以下)とす	- る。				
					言	語情報	知的技能	能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合				
		定	期詞	t 験		0	0					50%				
評価方法			トティ	スト		0	0			0		50%				
		_														
履修上の注意	扫	受業前に	、新	出語:	彙を必ず調べ	てくる	عے									

科目名	7	と注	<u> </u>	[- 4-	長専门子校 ク		
科目名(英)	-	pane			nmar	·π										
単位数			単位			時間	数	40時間		担当者	÷		金子『	 易平		
実施年度		202	20年	度		実施明	計期	 前期		担当者実務	务経					
	В				うか F])2年		13.773								
授業概要	日識	本語は欠	で に か し	自分の さなし	の言い。こ	いたいこと この授業で	は、日常	的な話題に	つい	て書かれた	文章や、	日常		ために、文法知のまとまりのある。		
授業形式	講	義:	(Э	演	習: △	実習	:	実	支 :	*	主た	る方法:〇	その他:△		
	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度意欲	その他					目相	票					
	0	大学進学や就職の際、特に読み書きで求められる文法表現が運用できる。 大学進学や就職の際、特に読み書きで求められる文法表現が運用できる。 図得した文法を使い、コミュニケーションを取ることができる。 文の内容に合った文法形式かどうかを判断することができる。 文の内容に合った文法形式かどうかを判断することができる。 大場理恵子、鈴木美希 著『日本語能力試験問題集 N3文法スピードマスター』有限会社 、サーチ出版、2018 松浦真理子(監修)、『日本語パワードリル N3 文法』アスク出版、2011年 授業項目・内容 授業外学修指示 授業外学修指示 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない どは調べ、学習項目の復習をしておくこと(1時														
学習目標 (到達目標)	0								•				<u> </u>			
(到连日保/	0	清水知子、大場理恵子、鈴木美希 著『日本語能力試験問題集 N3文法スピードマスター』有限会社 Jサーチ出版、2018 松浦真理子(監修)、『日本語パワードリル N3 文法』アスク出版、2011年 数 授業項目・内容 授業外学修指示 第一話 場面1「本屋で」 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない調度 といっておくこと(1時間 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない調度 といっておくこと(1時間 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない調査 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない記述 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない記述 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない記述														
テキスト・教材 参考図書	Ŧ	松浦真理子 (監修),『日本語パワードリル N3 文法』アスク出版、2011年団数授業項目・内容授業外学修指示1 第一話 場面1「本屋で」教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語録とは調べ、学習項目の復習をしておくこと(1時間)2 第一話 場面2「本屋を出て」教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語録とは調べ、学習項目の復習をしておくこと(1時間)3 第一話 場面3「喫茶店の前で」教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語録とは調べ、学習項目の復習をしておくこと(1時間)4 文の文法1(第3、第4)、文の文法2(第2)、パワードリル第2回教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語録とは調べ、学習項目の復習をしておくこと(1時間)														
	1	サーチ出版、2018 松浦真理子(監修),『日本語パワードリル N3 文法』アスク出版、2011年 数 授業項目・内容 授業外学修指示 第一話 場面1「本屋で」 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない。														
	2	数 授業項目・内容 授業外学修指示														
	3	松浦真理子(監修),『日本語パワードリル N3 文法』アスク出版、2011年 数 授業項目・内容 授業外学修指示 第一話 場面1「本屋で」 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない記述は調べ、学習項目の復習をしておくこと(1時間第一話 場面3「喫茶店の前で」 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない記述は調べ、学習項目の復習をしておくこと(1時間第一話 場面3「喫茶店の前で」 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない記述は調べ、学習項目の復習をしておくこと(1時間文の文法1(第3、第4)、文の文法2(第2)、パワードリル第2回 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない記述は調べ、学習項目の復習をしておくこと(1時間実戦練習①+FB、敬語 間違った問題、学習項目の復習をしておくこと(1時間) 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない記述は調べ、学習項目の復習をしておくこと(1時間)														
	4	# 一話 場面 11 本産で] どは調べ、学習項目の復習をしておくこと(1時間 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語 とは調べ、学習項目の復習をしておくこと(1時間 第 一話 場面 3「喫茶店の前で」 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語 どは調べ、学習項目の復習をしておくこと(1時間 文の文法 1 (第 3 、第 4)、文の文法 2 (第 2)、パワードリル第 2回 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語 とは調べ、学習項目の復習をしておくこと(1時間 実戦練習①+FB、敬語 間違った問題、学習項目の復習をしておくこと(1時間) 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語 とは調べ、学習項目の復習をしておくこと(1時間) 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語 対対書の該当範囲を事前に読み、わからない語 とば調べ、学習項目の復習をしておくこと(1時間)														
	5															
	6															
	7															
	8	第二	話場	易面⑤	「道で	[]					教科書の記	該当範	囲を事前に読∂			
	9	文の	文法	1(第7	7、第8	3)、文の文法	2(第4)、バ	パワードリル第4	0		教科書の記	亥当範	囲を事前に読み	メ、わからない語彙 ておくこと(1時間)		
授業計画	10	第二	話場	易面6	「不	動産屋のする	める部屋で	ে			教科書の記	該当範	囲を事前に読み	さいていている。 か、わからない語彙でおくこと(1時間)		
	11	文の	文法	1(第9	9、第1	0)、文の文法	₹2(第5)、/	パワードリル第	5回		教科書の記	該当範	囲を事前に読∂	ておくこと(1時間) ケ、わからない語彙7 ておくこと(1時間)		
	12	実戦	練習	2+F	B、副	 詞								をしておくこと(1時間)		
	13	第三	話場	易面7	「教	 室で」					教科書の記			y、わからない語彙z ておくこと(1時間)		
	14	文の	文法	1(第1	11、第	12)、文の文	法2(第5)、	パワードリル領	第6回		教科書の記	該当範	囲を事前に読∂	ておくこと(1時間) ケ、わからない語彙で ておくこと(1時間)		
	15	第三	話場	易面8	「電	 話で」					教科書の記	該当範	囲を事前に読∂	ておくこと(1時間) ケ、わからない語彙 ⁷ ておくこと(1時間)		
	16	文の	文法	1(第1	13、第	14)、文の文	法2(第7)、	パワードリル貿	第7回		教科書の記	亥当範	囲を事前に読∂	ておくこと(1時間) ケ、わからない語彙 ⁷ ておくこと(1時間)		
	17	第三	話場	易面9	۲ځ۷	 (らの部屋で」					教科書の記	該当範	囲を事前に読∂	ておくこと(1時間) ケ、わからない語彙 ⁷ ておくこと(1時間)		
	18	文の	文法	1(第1	5、第	(16)、文の文	法2(第8)、	パワードリル領	第8回		教科書の記	亥当範	囲を事前に読∂	<u>ておくこと(「時間)</u> り、わからない語彙: ておくこと(1時間)		
	19	実戦	練習(3+F	B、接	 . 続詞								をしておくこと(1時間)		
	20	総復	習								1	の復習	をしておくこと(2時間)		
	以上	を下	記の	観点	[書・京	合で評価	する。	体内で小テス 以上)・B(70			点以上)	•D(59	9点以下)と	する。		
評価方法							言語情報		能	運動技能	態度•意	飲	その他	評価割合		
				期試			0	0						50%		
			小	テス			<u> </u>	0			0			50%		
履修上の注意	授	業前	jı,	新出	占語회	 を必ず調	べてくるこ	 								

51 m h			 - .l.	±												
科目名		日本	事们	育												
科目名(英)	S	Study of	Japa	nese	society											
単位数		1単1	立		時間数		15時間		担当者		金子『	場平				
実施年度		2020年	₣度		実施時期	I	前期		担当者実務網	経験						
対象学科•学年	E	日本語科	(1年	56か .	月)2年											
授業概要										ト人を理解する 動を体験しな		。自国との違いや				
授業形式	講	義:	0	演	習: △	実習	₹:	実	 技:	※ 主 <i>t</i> :	-る方法:○	その他:△				
	言語情報	知的 運動 技能 技能		その他					目標	Ę						
	0	0	0		日本独自の	文化の	の背景にある	るもの	について考え	え、自国の文化	比と比較する	ことができる。				
学習目標			0		,					、日常生活に						
(到達目標)	0	0	0	_	考え方や視り	点の村	目違を認め、	相手	の意見を傾	徳し、多角的に	に物事を見る	ことができる。				
テキスト・教材 参考図書		© 87. → 2 1 + 11. L L L Z 7 = 1 (4.05 BB)														
	回数	授業項目・内容 授業外学修指示														
	1	今年の新語・流行語 宿題レポートを仕上げること(1時間)														
	2	今年の漢字・年賀状を書こう 宿題レポートを仕上げること(1時間)														
	3	日本の産業構造① 第6次産業 「おひとりさま」 宿題レポートを仕上げること(1時間)														
	4	日本の産業構造① 第6次産業 「おひとりさま」														
	5	ロ本の性未伸延し、第0次性未 「おいてりさま」														
	6	陶芸								宿題レポートを	士上げること(1時	詳問)				
	7	茶道								宿題レポートを	士上げること(1時	持間)				
授業計画	8	確認テ	スト							宿題レポートを	士上げること(1時	計間)				
	9															
	10															
	11															
	12															
	13															
	14															
	15															
	以上	上を下記	の観	点:割	・テストを数回 引合で評価す 90点以上)・A	る		70点」	以上)•C(60;	点以上)・D(59)点以下)とす	- る。				
					言	語情	報 知的技	支能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合				
			期詞			0	0					50%				
評価方法		1.	トテス	スト		0	0			0		50%				
履修上の注意	L	ノポートを	上必っ	が提出	出すること。		1		I	<u>I</u>	ı	<u>I</u>				

	٠.															
科目名		徳解I	П													
科目名(英)	J	apanese	List	enin	g III											
単位数		2単位	立		時間数		3	0時間	担当	当者		河原田	純子			
実施年度		2020年	度		実施時期	月 月		前期	担当者写	実務総	E 験					
対象学科•学年	E	日本語科	(1年	6か.	月)2年											
授業概要											-を身につけ、 ナることを目‡					
授業形式	講	義: (<u> </u>	演	習: △	実習	習:	実	技:		※ 主た	-る方法:○	その他:△			
	言語情報	知的 運動 技能 技能	態度意欲	その他						目標						
		0			キーワードを	聞い	て、全	体の内容	を推測で	きる						
学習目標	0	0			設問を聞いて	て、必	要な情	青報を意識	して聞き	とるこ	とができる					
(到達目標)			0		聞きとった話	の構	成、要	点を絞り、	大意を要	約し	て口頭、文章	で表現できん	ర			
テキスト・教材 参考図書	中柞	1 問題紹介 間違えた問題の聞きなおし、未知語の確認(1時間)														
	回数	理数 授業項目・内容 授業外学修指示 間題紹介 間違えた問題の聞きなおし、未知語の確認(1時間														
	1	1 問題紹介														
	2	1 5つの形式問題出題の特徴を学ぶ 音声の特徴になれる(似ている音の聞き分け・音の変化や縮約形) 即時応答のスキルを学ぶ(最初の文を理解する・返事を考える) 理題理解のスキルを学ぶ(最初の文を理解する・返事を考える) 理題理解のスキルを学ぶ														
	3	2 即時応答のスキルを学ぶ(最初の文を理解する・返事を考える) 3 課題理解のスキルを学ぶ 即時応答のスキルを学ぶ(ドリル&ドリル聴解N1即時応答抜粋) 1 間違えた問題の聞きなおし、未知語の確認(1時間)														
	4	3 課題理解のスキルを学ぶ 間違えた問題の聞きなおし、未知語の確認(1時間 即時応答のスキルを学ぶ(ドリル&ドリル聴解N1即時応答抜粋) 間違えた問題の聞きなおし、未知語の確認(1時間 課題理解のスキルを学ぶ 間違えた問題の聞きなおし、未知語の確認(1時間 にない はいまれる にはいまれる にはいまる														
	5	□ 即時心管のスキルを学ぶ(ドリル&ドリル聴解N1即時心管抜粋) 間違えた問題の聞きなおし、未知語の確認(1時 即時応答のスキルを学ぶ(ドリル&ドリル聴解N1即時応答抜粋) 間違えた問題の聞きなおし、未知語の確認(1時 ポイント理解のスキルを学ぶ) 関連また問題の聞きなおし、未知語の確認(1時														
	6	ポイント理	解の	スキル							間違えた問題の	聞きなおし、未	知語の確認(1時間)			
	7	概要理解	のスキ	トルを	学ぶ				l+ \		間違えた問題の	聞きなおし、未	知語の確認(1時間)			
授業計画	8	概要理解	のスキ	ールを							間違えた問題の	聞きなおし、未	知語の確認(1時間)			
	9				学ぶ(スピードマ 徳解N1 FB	スター	·腮解NI	即時心合协	斧)		間違えた問題の	聞きなおし、未	知語の確認(1時間)			
		統合理解	のスキ	・ルを	 学ぶ						間違えた問題の	聞きなおし、未	知語の確認(1時間)			
					学ぶ(模試と対策 聴解 巻末にも				<u>ት</u>)		間違えた問題の	聞きなおし、未	知語の確認(1時間)			
	H	JLPT直	-			りる法]处 6 以 6 次	で天心			間違えた問題の	聞きなおし、未	知語の確認(1時間)			
	H	N1聴解模	擬試		粋し、期末試験	を作成	;				間違えた問題の	聞きなおし、未	知語の確認(1時間)			
	13	期末試験 N1聴解模		験を抜	粋し、期末試験	を作成	<u> </u>				間違えた問題の	聞きなおし、未	知語の確認(1時間)			
	14	期末試験 N1聴解模	対策 擬試		粋し、期末試験								知語の確認(1時間)			
	(1); 以上	上を下記	(筆 の観	点•害	引合で評価す	る。					スト含む)実施 R以上)・D(59		 ెం.			
					言	語情	報	知的技能	運動技	能	態度•意欲	その他	評価割合			
		定期記	式験(筆記	3)	0		0					50%			
評価方法		/]	トテス	\ <u>\</u>		0		0			0		50%			
	\vdash															
履修上の注意	拉	受業で配	布さ	れた	プリントは、必	がす復	習する	ること	1				1			

		1														
科目名	-	ディス	カ	ッシ	/ョン&	ディ^	ベート									
科目名(英)		Discussio	n &	Deba	ite											
単位数		1単位	立		時間	数	15時	間	担当者		金子『					
実施年度		2020年	度		実施時	期	前其	月	担当者実務	圣験						
対象学科•学年	E	日本語科	(1年	6か.	月)2年											
授業概要	=	ディベート	のル	レ ー 」	レ、論旨の強	建て方、										
授業形式	講	義: ()	演	習: △	実習]:	実	技:	※ 主 <i>t</i>	-る方法: O	その他:△				
	言語 情報			その他		'		"	目標							
	0	0														
学習目標 (到達目標)			0		相手の意見	にうまく	賛成や反対	対の意思	きを伝えることで	で、円滑に討論	・ディベートを行	うことができる。				
(野)在口标/																
テキスト・教材	<i>t</i>	数 授業項目・内容 授業外学修指示 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間) 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間)														
参考図書		政授業項目・内容授業外学修指示1 授業概要説明、ディベート・ディスカッションについて次回の事前準備・情報収集をすること(1時間)														
	回数	数 授業項目・内容 授業外学修指示														
	_	1 授業概要説明、ディベート・ディスカッションについて 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間) 2 意見展開・情報収集について 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間)														
	2	技業概要説明、ティヘート・ティスカッションについて 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間)														
	3	② 息兄展開・情報収集について 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間) ③ 質問・反駁のしかたについて 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間) ・ディスカッション実践「日本の文化・習慣」 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間)														
	4	質問・反駁のしかたについて 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間) ディスカッション実践「日本の文化・習慣」 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間)														
	5	4 ディスカッション実践「日本の文化・習慣」 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間) 5 ディスカッション実践「大切なもの」 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間)														
	6															
授業計画												のこ (1时间)				
	8	ディベー	-卜実	践「	科学技術」					派り返りレハー	*O7 [F]戏(ZI时[II] <i>)</i>					
	9															
	10															
	11															
	12															
	13															
	14															
	15		, .	***			£. =£.	.			±1					
	加L 以J	、講義中 Lを下記(コに の観	紹介さ 点・割	れる表現技 割合で評価	支法を用する	いて効果	!的にタ	き言できている	らか(50%)、の2	点により評価	重する。				
									運動技能	態度•意欲	その他	評価割合				
=== /= -+->+			前準			0	(0				50%				
評価方法	_	参	加・多	电画						0		50%				
履修上の注意	 	事前準備	をし	っかり	小し、積極的	に討論	・ディベー	-トに参	加すること。							

				-							W-1-71 HD	1000 (1000 100				
科目名	I	日ス	本語 記	式 騎	対策B											
科目名(英)	S	Strate	egy for p	aasi	ng JLPT B											
単位数		2	単位		時間数		40時間		担当者		陽平					
実施年度		202	20年度		実施時期	1	前期	#	旦当者実務網	圣験						
対象学科・学年	E	本語	語科(1年	-6か	 月)2年											
授業概要					文字・語彙・ダ キルとストララ					[れ、						
授業形式	講	義:	0	演	習: △	実習:		実技	:	*	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	その他:△				
	言語 情報	知的 技能	運動 態度 技能 意欲	その他					目標]標						
	0	0			日常生活で。	とく目に	する漢字で	き書か	れた語を読	むことフ	ができる。					
学習目標	0	0									ことができる。					
(到達目標)	0															
	0	○ ○ 文章の流れに合った文かどうかを判断し、適当な答えが選択できる。 □ □ 対験に関して自己管理(時間配分・スケジューリング)ができる。														
		○ 試験に関して自己管理(時間配分・スケジューリング)ができる。														
テキスト・教材 参考図書	E	本記	語能力詞	大験門	問題研究会 著	引日本	語能力試	涣 直	前対策N37	文字∙語	彙·文法』 国書	刊行会 2012				
	回数				授業1	頁目•内										
		笋1[司 教科	車 能	明/解き方/			-				された 答え合わせまでしてくる				
	-						フィス・フルロット	/1		<u>こと</u> 間違えた	と箇所の復習(1時間))				
	_									第3・4回を必ず自分で解いて、答え合わせまでしてく						
	_				B·要点整理(ること(1	時間)					
		4 第3・4回 説明FB・要点整理① 間違えた箇所の復習(1時間) 5 第3・4回 説明FB・要点整理② 第5・6回を必ず自分で解いて、答え合わせまでしています。														
	5	第3	•4回 記	说明F	B·要点整理(2				ること(1	時間)					
	6	第5	•6回 討	说明F	B·要点整理(1)					≿箇所の復習(1時間)					
	7	第5	•6回 記	说明F	B•要点整理(2				第7・8回ること(1		、答え合わせまでして				
	8	第7	-8回 記	说明F	B•要点整理(1)				間違えた	と箇所の復習(1時間)					
	9	第7	•8回 記	说明F	B·要点整理(2					回を必ず自分で解い と(1時間)	て、答え合わせまでし				
授業計画	10	第9	·10回	説明	FB•要点整理	1 1					- (1431日) - 箇所の復習(1時間))				
	11	第9	·10回	説明	FB•要点整理	1 2						ハて、答え合わせまでし				
	12	第1	1・12回	〕説	————— 明FB·要点整	理(1)					と(1時間) ≿箇所の復習(1時間)	1				
	13	第1	1・12回	一説	明FB·要点整	理(2)						ハて、答え合わせまでし				
					明FB·要点整						<u>と(1時間)</u> と箇所の復習(1時間)	1				
					明FB·要点整					第15回を	と必ず自分で解いて、	答え合わせまでしてくる				
		210			77. – 27					こと(1時間違えた	情間) と箇所の復習(1時間)	1				
					3・要点整理①						5回までの間違えた問					
					3·要点整理②)				(2時間)						
			回~8回													
	19	第9	回~15	回:	総復習					確認テストの予習をしてくること(2時間)						
	20	総復	[習(確認	マテス	(/)					间遅れた	≿箇所の復習(1時間)					
	以上	を下	記の観	点:	・実施する。(剛合で評価す 90点以上)・A	る。				点以上)	・D(59点以下)と	する。				
					言	語情報	知的技	能	運動技能	態度•	意欲 その他	評価割合				
		定	期試験	筆記	2)	0	0			0		50%				
評価方法			小テス	۲۲			0			0)	50%				
履修上の注意	宿	宮題を	を必ずす	るこ	Ŀ。											

科目名	1	作文													
科目名(英)	J	apanes	e Wri	ting											
単位数		2単	位		時間]数		30時間		担当者		河原田	純子		
実施年度		2020:	年度		実施	時期		前期		担当者実務	圣験				
対象学科・学年	E	1本語和	斗(1年	=6か.	月)2年										
授業概要											いたことをロ! につけ、書くこ		っすく紹介できる。		
授業形式	講	義:	Δ	演	習: C)	習:		実担	 支:	※ 主力	-る方法∶○	その他:△		
	言語 情報	知的 運動技能 技能		その他						目標					
	0	0	0		必要な語	彙や表	現を	正しく使用	する	ることができる	5				
学習目標	0	○○○自分の意見を分かりやすく伝え、書くことができる													
(到達目標)	_														
 テキスト・教材															
参考図書	(C&P日本語教育・教材研究会 (著) 『日本語作文I -身近なトピックによる表現練習』専門教育出版、2001年													
	回数	授業項目・内容 授業外学修指示													
	1	授業概	要説	明	日本語を	学ぶ理日	b ①				テーマの作文を作成する(1時間)				
	2	日本語	を学	ぶ理	曲②						作文の完成 発	表の練習(1時間	目)		
	3	日本語を学ぶ理由② 「「下文の元成 発表の練音(「時間)」 「下文の元成 発表の練音(「時間)」 「デーマの作文を作成する(1時間)」 「デーマの作文を作成する(1時間)」													
	4	紹介したい有名人② 作文の完成 発表の練習(1時間)													
	5	国との比較 学校・教育①													
	6	国との	比較	学校	· 数·教育②)					作文の完成 発	表の練習(1時間	目)		
	7	国との	比較	家族	失∙結婚観	.1					テーマの作文を	作成する(1時間	1)		
授業計画	8	国との	比較	家族	失∙結婚観	(2)					作文の完成 発	表の練習(1時間	目)		
	9	暮らし	方·生	き方	テーマ道	選択①					テーマの作文を	作成する(1時間	1)		
	10	暮らし	方·生	き方	テーマ道	選択②					作文の完成 発	表の練習(1時間	目)		
	11	将来の	計画	1							テーマの作文を	作成する(1時間	1)		
	12	将来の	計画	2							作文の完成 発	表の練習(1時間	目)		
	13	留学生	E活で	学ん	だこと①						テーマの作文を	作成する(1時間	f)		
	14	留学生	活で	学ん	だこと②						作文の完成 発	表の練習(1時間	目)		
	15	留学生	活で	<u>-</u> 学ん:	だこと③						作文の完成 発	表の練習(1時間	I)		
	以上	-を下記	己の観	点:	割合で評価	西する。		プワークB .上)・B(70			」 点以上)・D(59	点以下)とす	- る。		
						言語情	手報	知的技	能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合		
57 / T + >+	<u> </u>		試験			0		0			0		50%		
評価方法	L 2	ブループ	·./—·	ソ時(の発言			0			0		50%		
履修上の注意	L	ノポート	や宿息	題は、	必ず期限	艮内に提	出し	て下さい。							

	_														
科目名	1	読解Ⅲ													
科目名(英)	J	lapanese	Rea	ading	Ш										
単位数		2単位	立		時間	数		30時間		担当者		河原田	純子		
実施年度		2020年	F度		実施時	期		前期		担当者実務	経験				
対象学科•学年	E	日本語科	(1年	=6か.	 月)2年										
授業概要	・口本語能力試験NIで取り上げられる幅広い話題について書かかれた新闻の論説、評論など、論理的やや複雑な文章や抽象度の高い文章などを取り上げ、文章の構成や内容を説明できる。 ・さまざまな話題の内容に深みのある読み物を読んで、話の流れや詳細な表現・意図を理解し、述べることができる。 ・問題の解き方の基本スキルを身につけ、時間内に効率よく正解できる。 ・問題の解き方の基本スキルを身につけ、時間内に効率よく正解できる。														
授業形式			0		習: △		習:		実技			たる方法:〇	その他:△		
	言語 情報	知的 運動 技能				·				目標	Ę				
	0														
学習目標		日本 で													
(到達目標)	0	○ ○ ○ あるテーマについての考えを論理的に作文を書くことができる													
テキスト・教材 参考図書	松岡 龍美 著『絶対合格!日本語能力試験 徹底トレーニング N1 読解』アスク出版、2012年														
	回数	回数 授業項目・内容 授業外学修指示													
	1	は調べておくこと(1時間)													
	2	2 内容理解(短文) 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用 は調べておくこと(1時間)													
	3	3 内容理解(中文) 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用 は調べておくこと(1時間)													
	4	教科書の該当節囲を事前に読み わからない用													
	5	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない日													
	6	情報検索	 友									範囲を事前に読る	み、わからない用語等		
	7	短文(縦	書き	・ビジ	ネス文書)	青報検	 索					範囲を事前に読る	み、わからない用語等		
授業計画	8	中文•統	合理	解▪情	報検索							範囲を事前に読る	み、わからない用語等		
	9	長文・統	合理	解▪情	報検索							範囲を事前に読る	み、わからない用語等		
	10	実践問題	 <u>頁</u>									範囲を事前に読る	み、わからない用語等		
	11	N1読解約	 総復習	 멸							配布プリントの		に読み、わからない用		
	12	N1読解約	 総復習	 멸							配布プリントの		に読み、わからない用		
	13	N1読解約	総復習	 望							配布プリントの		に読み、わからない用		
	14	N1読解約	総復習	 望							配布プリントの		に読み、わからない用		
	15	期末試験	—— 負対第	 							配布プリントの		に読み、わからない用		
	以上	Lを下記(の観	点:	割合で評価	する。				·を実施する。 以上)·C(60,	,	9点以下)とす	T		
				/ July = -		言語情	手報	知的技	能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
50 /m >		定期記			己)	0		0					50%		
評価方法			トテク	<u></u>		0		0			0		50%		
			-	-											
履修上の注意	拉	受業前に	、新	出語	彙を必ず調	べてく	:ること	<u> </u>							

科目名	文字語彙Ⅲ													
科目名(英)	J	apane	se cha	aracte	ers and vocab	ulary I	П							
単位数		4単	单位		時間数		60時間		担当者		河原田	純子		
実施年度		2020	0年度		実施時期	1	前期		担当者実務	圣験				
対象学科•学年	E	本語	科(1年	₣ 6か	月)2年									
授業概要	授業前半は、日常生活に役立つN1レベルの語彙を学び、語彙を増やすことを目標に授業を進める。 後半は、日本語能力試験N1(言語知識)文字語彙パートの出題形式に合わせたテキストを使用し、 多くの練習問題を解く中で、漢字の読み書きが正しくできる力、語彙力を強化し、N1合格を目指す。													
授業形式	講	義:	0	演	習: △	実習	·:	実	技:	※ 主#	たる方法:○	その他:△		
	言語 情報		重動 態度 支能 意欲					1	目標					
	0	0			前後の文脈	に合う	語彙を、正	しく使	うことができ	る。				
学習目標	0													
(到達目標)	O O N1レベルの語彙が、文中で正しく使われているかを判断することができる。													
	O O N1レベルの漢字語彙に適切な接頭辞や接尾辞をつけることができる。													
	N1レベルの漢字の読み書きが正しくできる。													
テキスト・教材 参考図書	・松浦 真理子、鈴木 健司 監修 アスク出版編集部 著『日本語バワードリルN1文字・語彙』アスク出版、2019年 ・佐々木 仁子(著)、松本 紀子(著) 『日本語総まとめ N1 語彙(「日本語能力試験」対策)』アスク出版、2010													
	・佐々木 仁子 (著), 松本 紀子 (著) 『日本語総まとめ N1 語彙 (「日本語能力試験」対策)』アスク出版、2010 回数 授業項目・内容 授業外学修指示													
	1.2	日本語総まとめN1語彙』第1週 いろいろ表現しよう① (1日目~4日目) 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語												
	2.4	1・2 第1週 いろいろ表現しよう① (5日目~7日目) は調べておくこと(1時間) ************************************												
		3・4 第2週 じつじつ衣切しよりと は調べておくこと(1時間) 数割書の計火祭圏も東部に詰む。 ねからない 周部												
	5.6	5.6 第3週 副前をしつくり子首しよう は調べておくこと(1時間)												
	7•8	第4退	到 初系	及漢字	この語彙を覚え	えよう				は調べておくこ	と(1時間)			
	9・10 第5週 中級漢字の語彙を覚えよう 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用は調べておくこと(1時間)													
	11· 12	第6週	1 意味	未が多	らい言葉を覚え	えよう				教科書の該当筆 は調べておくこ。		み、わからない用語等		
197 Alle 2 1	13· 14	第7週	まと	めて	覚えよ う ①					教科書の該当筆は調べておくこ		み、わからない用語等		
授業計画	15· 16	第8週	まと	めて	 覚えよ う ②						節囲を事前に読	み、わからない用語等		
	17.	「日本語	語パワー	ドリル	·N1文字・語彙」(レーニング①②	第1回、2	2回、3回)			教科書の該当筆	節囲を事前に読	み、わからない用語等		
	19•	第6回、	7回、8	回							節囲を事前に読	み、わからない用語等		
	21.	第9回、 第11回	10回、 12回、	集中ト 13回	レーニング③④					は調べておくこ 教科書の該当筆	節囲を事前に読	み、わからない用語等		
	22	第14回 第16回	l、15回、 l、17回、	集中I 18回	レーニング⑤⑥					は調べておくこの数料書の該当額		み、わからない用語等		
	24		、20回、	集中	レーニング⑦8					は調べておくこ	と(1時間)	み、わからない用語等		
	26	第24回	、25回、	集中I	レーニング ⑨⑩					は調べておくこ	と(1時間)			
		第26回 第29回			·レーニング⑪⑫					教科書の該当筆 は調べておくこ。		み、わからない用語等		
	29· 30	後期記	試験対	策総	復習問題①	2)				授業内容に係るおくこと(2時間)		施するので、復習して		
	以上	を下記	記の観	点:	・実施する。 割合で評価す 90点以上)・A	る。					9点以下)とす	-る。		
					言	語情報	日 知的技	能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合		
		定其	胡試験	(筆言	2)	0	0					50%		
評価方法		宿	写題・ レ	ノポー	F	0	0			0		50%		
								_						
履修上の注意	 接	受業前	に、新	出語	彙の宿題を必	らずして	こくること。							

科目名	文法Ⅲ													
科目名(英)	J	apanese	Gran	mmai	r III									
単位数		2単位	立		時間	数		40時間		担当者		河原田	純子	
実施年度		2020年	度		実施問	期		前期		担当者実務	経験			
対象学科•学年	E	日本語科	(1年	6かり	月)2年									
授業概要	う	。日本で	で就職	哉し、:	生活してい	くことを	を見掛	居え、その	基盘		語力を向上さ	せると同時に	合格できる力を養 、企業で求めら	
授業形式	講	 義: (0	演	習: △	実	習:		実	<u>技</u> :	※ 主	たる方法:〇	その他:△	
	言語 情報	知的 運動 技能		その他				<u> </u>		目標	5			
	0	0			文の内容	にあっ	た文法	法形式を	使っ	て複文を作る	らことができる	5		
学習目標	○ ○ N1レベルの文法項目を使って、統語的に正しく意味が通る文章を組み立てることがでいる。 ○ N1レベルの文法を使って、コミュニケーションをとることができる													
(到達目標)														
テキスト・教材 参考図書														
	回数 授業項目・内容 授業外学修指示													
		1 日本語総まとめN1 第1週 1日目「こそ」を使った表現 2日目「くらい」「もの」を テキスト内の語彙の予習、復習												
	-	使った表現、3日目「こと」を使った表現 学習項目の文法の復習(1時間) 日本語総主とめN1 第1週4日日、文末末期(高島、体役高島文)体役の末期 テキスト内の語彙の予要 復習												
	2 日本語総まとめN1 第1週4日目 文末表現(受身、使役受身文)使役の表現、テキスト内の語彙の予習、復習 5日目「みる」「みられる」「する」を使った表現 6日目「ところ」を使った表現 学習項目の文法の復習(1時間)													
	3 日本語総まとめN1 第2週 1日目「なり」を使った表現 2日目「であれ」、「意 テキスト内の語彙の予習、復習 志形+が」「どんなに~か」、3日目「というか」、「まい」、「にせよ」を使った表 学習項目の文法の復習(1時間) 日本語総まとめN1 第2週 4日目 例示表現「だの」「といい」「AがAなら、Bも テキスト内の語彙の予習、復習)	
	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1)		
	7	日本語総	まとめ	N1 §		「~皮も	刃りに、	<u>-</u> 」「をもって」「			テキスト内の語	法の復習(1時間 量の予習、復習		
										明を示す表現と ない」「ともなく」		法の復習(1時間) E彙の予習、復習)	
	H									:もなると <u>」3日</u> あって」「あって		法の復習(1時間) [彙の予習、復習)	
授業計画	9	の」5日目	「から	らする	」「たりとも」「					· - · · ·	学習項目の文	法の復習(1時間)	
汉未时四	10	復習第3	3週~	~第4	1週							語彙の予習、復習 法の復習(1時間)	
										しだ、ずにすま 定形)(そうもな		語彙の予習、復習 法の復習(1時間))	
	12	日本語総	まとめ	N1 🤅	第5週 4日目	「至る」	「いか。	ん」を使った	表現		テキスト内の語	兵の予習、復習		
					と相まって <u>」</u> 第6週 1日目					こひきかえ」「に		法の復習(1時間) E彙の予習、復習)	
		即して」 2	<u>2日目</u> まとめ	「つi 1 1 IA	もりで」「まま! 筆ら週 4日日	こ」「ずと	も」「す	<u> </u>	日目	<u>「ながらに」「な</u> ばかりに」「とば		法の復習(1時間 事量の予習、復習)	
										を兼ねて」6	学習項目の文	法の復習(1時間		
		復習第5			_						と。(1時間)		い使い方を覚えるこ	
	16	日本語総まと て」3日目	:めN1 「~めく	第7週 」「~び	1日目「~に」「 る」「~ぶる」「~ぷ	~や」「~と り」	いう」	2日目「にして.	げもした	ないで」「だに」「ことと	テキスト内の語彙の 学習項目の文法の			
	17	日本語総まと	-めN1	第7週4	1日目文末表現	「に耐える」				りない」5日目 文末 ドを使った表現「~ざ				
	18	日本語総まと末表現「には	:めN1 あたらた	第8週	1日目「はさてa :硬くない」「てやa	き」「はど ない」「でに	うであれ まくてなん	い「はおろか」「た んだろう」 3日	iらいさ 3 文 z	「しらず」 2日目 文 末表現(否定形)「で	テキスト内の語彙の 学習項目の文法の			
	40	日本語総まと	-めN1	第8週4	1日目 文末表現	を禁じえた	よいり、「ぇ	を余儀なくされた	ニ」「嫌し	いがある」「始末だ」 、~かれ」「~につ		をチェックして正し	い使い方を覚えるこ	
		復習第7				, _		. · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			と。(1時間) 間違えた問題	をチェックして正し	い使い方を覚えるこ	
	-				<u>-</u> !施 (2)!	定期試	験(3	筆記)を実	施		ـ عرا			
		以上を下	下記の	の観点	点・割合で	平価す	る。			N. I. \ ^ (==	ENLLY = 4	-	- 7	
	成絹 	評価基	準は	., S(90点以上)	•A(80	点以	L上)•B(7	U点J	以上)•C(60)	点以上)•D(₹	59点以下)とす	ే ం	
評価方法	\vdash					言語情	手 表示	知的技	能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合	
	\vdash	定期:					∃ † X	Altium O	пС	生却汉化	芯皮 总队	COLE	50%	
	\vdash		トテス		.,	0		0			0	+	50%	
	\vdash	-1	・テス	VI		0							30%	
履修上の注意	授	受業前に	、新と	出語:	彙を必ず調	べてく	るこ	لح						

科目名		□╁▫	≠ ¼	ŧ												
		日本事情 Study of Japanese society														
科目名(英)	S	Study of	Japa	nese	society											
単位数		1単位	立		時間数		1!	時間	拮	旦当者		河原田	l 純子			
実施年度		2020年	₣度		実施時期	1	Ī	前期	担当	者実務	経験					
対象学科・学年	E	日本語科	(1年	6か.	月)2年											
授業概要					について基2 多文化理解に								る。自国との違いや			
授業形式	講	義: 4	Δ	演 [:]	習: 0	実	習:	実	技:		※ 主	 たる方法: C	その他:△			
	言語情報	知的 運動 技能 技能		その他						目標	<u> </u>					
	0	0			日本独自の	文化	の背景	にあるもの	かにつし	いて考え	えることがで	きる。				
学習目標	0															
(到達目標)	0															
テキスト・教材 参考図書	日本事情」プロジェクト 著『新訂版 話そう考えよう 初級 日本事情 』スリーエーネットワーク、2009年															
	回数															
	1	The state of the s														
	2	今年の	漢字	•年資	貫状を書こう	宿題レポートを										
	3	日本の	産業	構造	① 第6次産	宿題レポートを	仕上げること(1	時間)								
	4	日本の産業構造② AI 宿題レポートを仕上げること(1時間)														
	5	5 まとめのレポート作成 宿題レポートを仕上げること(1時間)														
	6	陶芸									宿題レポートを	仕上げること(1	時間)			
	7	茶道									宿題レポートを	仕上げること(1	時間)			
授業計画	8	確認テス	スト(総復	 習)						宿題レポートを	仕上げること(1	時間)			
	9															
	10															
	11															
	12															
	13															
	14															
	15															
	以上	上を下記	の観	点:	を実施する。 削合で評価す 90点以上)・A	る。						9点以下)と	する。			
					-	語情	報	印的技能	運動	技能	態度·意欲	その他	評価割合			
		定期記			2)	0		0			_		50%			
評価方法		/]	トテク	۲۲		0		0			0		50%			
履修上の注意	扫	是出物を	必ず	提出	すること		ı		1			1	'			

	_														
科目名	ディスカッション & ディベート Discussion & Debate														
科目名(英)	D	iscuss	ion &	Deba	ite										
単位数		1単	单位		時間数		15時間		担当者		河原田	純子			
実施年度		2020)年度		実施時期	I	前期		担当者実務網	圣験					
対象学科•学年	E	本語	科(1年	= 6か.	月)2年	'									
授業概要	=	ディベー	-トのノ	レーバ	語コミュニケー レ、論旨の建て ディベートを行	方、						。 -マに基づいて、			
授業形式	講	義:	Δ	演	習: O	実習	3 :	実	 技:	※ 主た	-る方法: O	その他:△			
	言語情報		動態度能 意欲						目標	Į					
	0	0	0		身近なトピック	での	討論の場にお	いて、	自らの考えを	整理し論理性と	:説得力をもっ	て表明できる。			
学習目標	0	○ 相手の意見にうまく賛成や反対の意思を伝えることで、円滑に討論・ディベートを行うことができ													
(到達目標)															
テキスト・教材 参考図書	 オ	オリジナルテキスト													
	回数	授業項目•内容 授業外学修指示													
	1	授業概要説明、ディベート・ディスカッションについて 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間)													
	2	2 意見展開・情報収集について 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間) 3 質問・反駁のしかたについて 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間) 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間) 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間)													
	3														
	4														
	5									次回の事前準備	请・情報収集をす	ること(1時間)			
	_	アイスカッション美銭・入切なもの 次回の事前準備・情報収集をすること(1													
	6	-								次回の事前準備	•情報収集をす	ること(1時間)			
授業計画	7				動き方」					振り返りレポート					
	8	アイベ	・一ト美	〔践〕	科学技術」					100 / ME / D 1 1	**************************************				
	9														
	10														
	11														
	12														
	13														
	14														
	15														
	加し	、講義	中に約	沼介さ	される表現技法 90点以上)・A	去を月 (80ヵ	用いて効果的 点以上)・B(7	りに発 70点」	言できている 以上)・C(60;	5か(50%)、の2	点により評価	-る。 			
					言	語情		技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合			
	事前準備 〇 〇											50%			
評価方法		<u> </u>	参加・	発言						0		50%			
履修上の注意	利	責極的に	に発記	する	ように心掛け	て下	さい。								